



相続診断ナビゲーション

操作マニュアル

2024年10月 改訂版



バンカーズ・ビジネス・ソリューションズ株式会社

目次

Ctrl キーを押しながら項目をクリックすると該当ページを表示します

1. 留意点	3
2. 初めにご確認いただきたいこと、作業していただくこと	3
3. 相続診断ナビゲーションのダウンロード手順	4
4. 相続診断ナビゲーションの起動	4
5. 相続診断ナビゲーションの初期画面	5
6. 主な機能	6
7. データ入力シート上の各種ボタン機能	7
8. 顧客データの登録	8
9. 顧客データの検索	9
10. 顧客情報の入力	10
11. 相続税算出設定	13
12. 不動産の入力	14
13. 筆入力・修正	166
14. 入力したセルの色が変わるケース	177
15. 土地評価システム	188
16. 定性面チェック、分析レポートスキーム図の強制出力	199
17. 顧客ニーズ分析	200
18. 前提条件の設定	211
19. 分析レポート作成	222
20. 配偶者の取得財産計算	233
21. 家系図作成	244
22. 贈与税シミュレーションツール	25
23. DPシステム(情報提供資料作成ツール)	27
24. 遺産分割一覧表	28
25. 公正証書遺言自動作成ツール	30
26. 遺産分割協議書自動作成ツール	31
27. 不動産レポート	32
28. 株価算定ツール	33
28. その他情報シート	35
30. 登録済データの閲覧	35
31. 他の相続診断ナビゲーションへのデータ接続	35
32. データ出力と外部データの取り込み	36
33. 最新バージョンのダウンロード方法	37
34. レポート台紙の変更	38

35. 相続の達人との連携	39
36. 見積書・請求書作成ツール	40
37. 不動産移転シミュレーション	41
38. 将来予測シミュレーション	42

相続診断ナビゲーションの操作方法を、各項目ごとに2分～3分程度の動画で視聴することができます。動画では入力の注意点や操作手順に従って説明していますので、分かりやすい動画となっております。

本マニュアルの他に、システムの操作手順や入力方法を詳細に記載した操作手順書(詳細編)をホームページに掲載しております。相続診断ナビゲーションの初期画面「最新版ダウンロードサイト」をクリックしてダウンロードできます。

また、本ダウンロードサイトより最新のバージョンアップファイルをダウンロードすることができますので、定期的にバージョンアップすることをお勧めします。最新版にバージョンアップすることで最新機能をご利用いただけます。



1. 留意点

- (1) 本システムを使用する際にはパソコン上で開いている他のソフトを閉じてから使用するようにしてください。
本システム自体の容量が大きいため他のソフトが開いた状態で使用すると動作が遅くなる等の影響がでる場合があります。
- (2) システムフォルダ内にあるファイル、フォルダの名称は変更しないでください。
- (3) OneDriveやドロップボックスに接続した状態で本システムを使用した場合、動作に不都合が生じる可能性があります。不都合が生じた場合はOneDriveやドロップボックスを遮断してご利用ください。
OneDriveやドロップボックス接続時の動作保証は行っておりません。
- (4) 本システムフォルダ内には、システムに関係するファイル以外は保存しないでください。
本システムで作成したレポート等を保存する場合には、本システムフォルダ以外のフォルダ（任意）に保存してください。
- (5) 本システムをパソコンのハードディスクに保存して起動している場合には、パソコンが壊れた場合等にDATAファイルが取り出せなくなる事態が考えられますので、DATAファイルを定期的に外部媒体（CD、USB等）にバックアップされることをお勧めします（サーバーから起動している場合はバックアップの必要はありません）。
- (6) 本システムの構成、仕組み、レポート等に出力された文言、スキーム図等についての著作権はバンカーズ・ビジネス・ソリューションズ株式会社に帰属します。
本システムの外部への転送、転写および複製はできません。

<本システムの動作環境>

- ・OS Windows 8 以降
- ・Excel2013、Word2013、PowerPoint2013以降がインストールされているPC
- ・メモリー 8GB以上（推奨）

2. 初めにご確認いただきたいこと、作業していただくこと

- (1) 分析レポートの出力
データ入力・検索 → 顧客ニーズ分析 → 分析レポート作成 の順にクリックし、分析レポートが出力されることをご確認ください。
- (2) DPシステムの情報提供レポートの出力
データ入力・検索 → 顧客ニーズ分析 → DPシステム の順にクリックし、DPシステムを立ち上げ、ニーズ一括選択 をクリックしレポート作成 で情報提供資料が出力されることをご確認ください。
- (3) 遺産分割レポート、公正証書遺言原案の作成、遺産分割協議書の作成
 - ① データ入力・検索 → 遺産分割 → 検索 → 「若葉 太郎 100000 遺言見本」を選択しデータを取得してください。
 - ② 遺産分割レポート作成 をクリックし、遺産分割レポートが出力されることをご確認ください。
 - ③ 公正証書原案作成 → 公正証書遺言作成ツールが起動 → 原案作成 をクリックして公正証書遺言原案が出力されることをご確認ください。
 - ④ 遺産分割協議書作成 → 遺産分割協議書作成ツールが起動 → 遺産分割協議書作成 をクリックして遺産分割協議書が出力されることをご確認ください。
- (4) サーバーを利用する場合、SmilePASS.xmlsmに各相続診断ナビゲーションのTCSDATAファイルのパスを指定します。
「31. 他の相続診断ナビゲーションデータ接続」を参照してください。パスを入力したSmilePASS.xmlsmを他の相続診断シミュレーションシステムのSmilePASS.xmlsmに上書きしてください。
SmilePASS.xmlsmのファイルは本システムフォルダ→Toolフォルダ→DATAフォルダ内にあります。
- (5) レポート台紙を編集（任意）します。編集方法は「34. レポート台紙の変更」を参照してください。
台紙を編集した場合、編集したPowerPointの台紙を他の相続診断ナビゲーションの台紙に上書きしてください。
PowerPointの各種レポート台紙は本システムフォルダ→Toolフォルダ→Reportフォルダ内にあります。

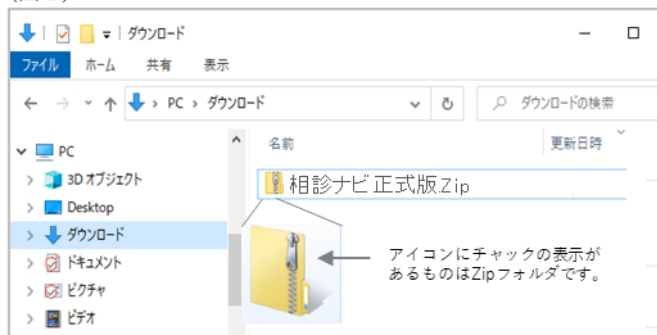
留意点

- ・レポート作成速度を「高速」で作成しエラーが発生した場合は、出力速度を「中速」、「低速」、「任意指定」で作成してください。
- メモリー8GB以上を推奨しておりますが、4GBで作成する場合「高速」では処理スピードが追いつかずエラーになる場合がございます。

3. 相続診断ナビゲーションのダウンロード手順

1. 弊社から送信されたメールから相診ナビ正式版.zipをダウンロードし、保存した相診ナビ正式版Zipフォルダをクリックします。(図1)
ダウンロードの際に「開く」ボタンを選択した場合は、相診ナビ(担当者名)のフォルダ(図2)が表示されます。

(図1)



相診ナビ正式版.Zip フォルダをダブルクリックして、図2の相診ナビ(担当者名)のフォルダを表示します。

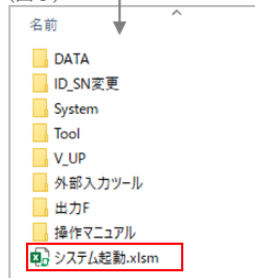
2. 相診ナビ正式版Zip フォルダ中にある相診ナビ(担当者名)フォルダごと任意の場所(事務所内サーバーまたはパソコンハードディスク等)にドラッグ、コピー&ペイストまたは移動してください。(担当者名)には使用する方の氏名等(識別できる名称)に変更してください。

(図2)



(1) 相診ナビ正式版.zip に入ったまま使用するとエラーが発生しますので、必ず Zip フォルダの中にある相診ナビ(担当者名)フォルダをサーバー(またはハードディスク)に保存します。

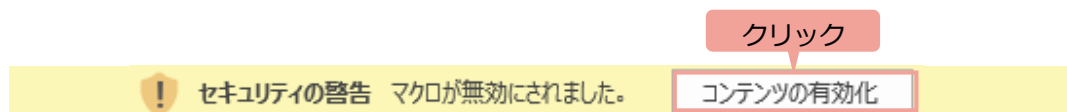
(図3)



(2) 相診ナビ(担当者名)フォルダ(図3)内の「システム起動.xlsm」をダブルクリックすると起動します。
※ システム起動ファイルのショートカットをデスクトップに作成すると起動が便利です。

4. 相続診断ナビゲーションの起動

- (1) 初めてシステムを起動する場合は、マクロを有効にするためのメッセージが表示されますので、「コンテンツの有効化」をクリックしてください。
「コンテンツの有効化」をクリックしないとシステムが動作しません。
※ 「編集を有効にする」というメッセージが表示された場合は「編集を有効にする」をクリックしてください。



【留意点】

本システムが起動せず、上記の「コンテンツの有効化」が表示されない場合は、システム起動.xlsm のファイルを右クリックし、プロパティを選択して全般タブの下のセキュリティ項目の許可するにチェックをしてください。
セキュリティ項目が表示されていない場合は、その状態では起動できませんので弊社(03-6868-4792)までご連絡ください。

5. 相続診断ナビゲーションの初期画面

＜初期画面(スタート画面)＞



＜DPシステム(情報提供資料)＞

顧客データが把握できていない状態で、顧客ニーズを把握するために情報提供資料のみ出力したい場合に初期画面から立ち上げます。データ入力シートに顧客データを入力している場合は、**データ入力・検索**をクリックし**顧客ニーズ分析**をクリックして**DPシステム**を立ち上げると分析された顧客ニーズを反映させることができます。

＜株価算定ツール＞

未上場会社の株式評価を行います。類似データは自動反映されるため簡単に算出することができます。また、株価のシミュレーション機能、レポート出力機能が搭載されています。

＜贈与税シミュレーション＞

暦年贈与、相続時精算課税制度による贈与を提案する場合に、お客さまの相続税額から節税効果が一番高くなる贈与額を自動算出し最長30年間のシミュレーションを行うことができます。

＜相続税 将来予測シミュレーション＞

現状の財産変動、各種対策、対策の財産変動を詳細に設定することができ、将来の財産変動と相続税の変動をシミュレーションすることができます。

＜家系図自動作成ツール＞

本人の家族・親・兄弟姉妹・甥姪、配偶者の親・兄弟姉妹・甥姪、先妻・先夫のデータを入力するだけで家系図を自動作成します。作成した家系図を各種レポートに出力することができます。また、本システム以外の資料に家系図を使用したい等の場合にも本ツールを活用することができます。

＜不動産移転シミュレーション＞

個人が所有している賃貸用の不動産を資産管理会社に移転した場合の税効果や損益分岐点等のシミュレーションを行うことができます。

＜見積書・請求書作成ツール＞

相続における見積書の作成、請求書の作成を行うツールです。

＜土地評価システム＞

土地評価システムでは奥行補正、間口狭小補正、奥行長大補正、不整形地補正、セットバック、無道路地、がけ地補正、高架線、重要文化財指定、土地区画整理事業、地積規模の大きな宅地の評価等を行うことができます。土地の評価を行いながらデータ入力シートに入力する場合は**データ入力・検索**をクリックし土地の入力フォームから土地評価システムを立ち上げて入力してください。

＜借換シミュレーション＞

現在お借入れしている債務を借り換えた場合の返済額比較、残存年数における返済額合計の増減を調べることができます。

＜各種税額計算＞

所得税、譲渡所得税、取得費加算、法定相続分と遺留分計算、役員退職金所得税、役員退職金適正額計算、相次相続計算等を簡易的に行うことができます。

＜操作説明動画一覧・操作マニュアル＞

各種レポートの出力手順や本システム全般の入力・操作方法の動画および操作マニュアルを開くことができます。

＜レポート出力様式設定＞

8種類のPowerPointレポートを出力できますが、出力される文字色、背景色等を設定することができます。ただし、表題、自動作成されるスライドの変更は、相続診断ナビゲーションフォルダ→Toolフォルダ→Reportフォルダの台紙を直接変更してください。詳しくは、「34.レポート台紙」の変更をご参照ください。

<外部のデータ取込み>

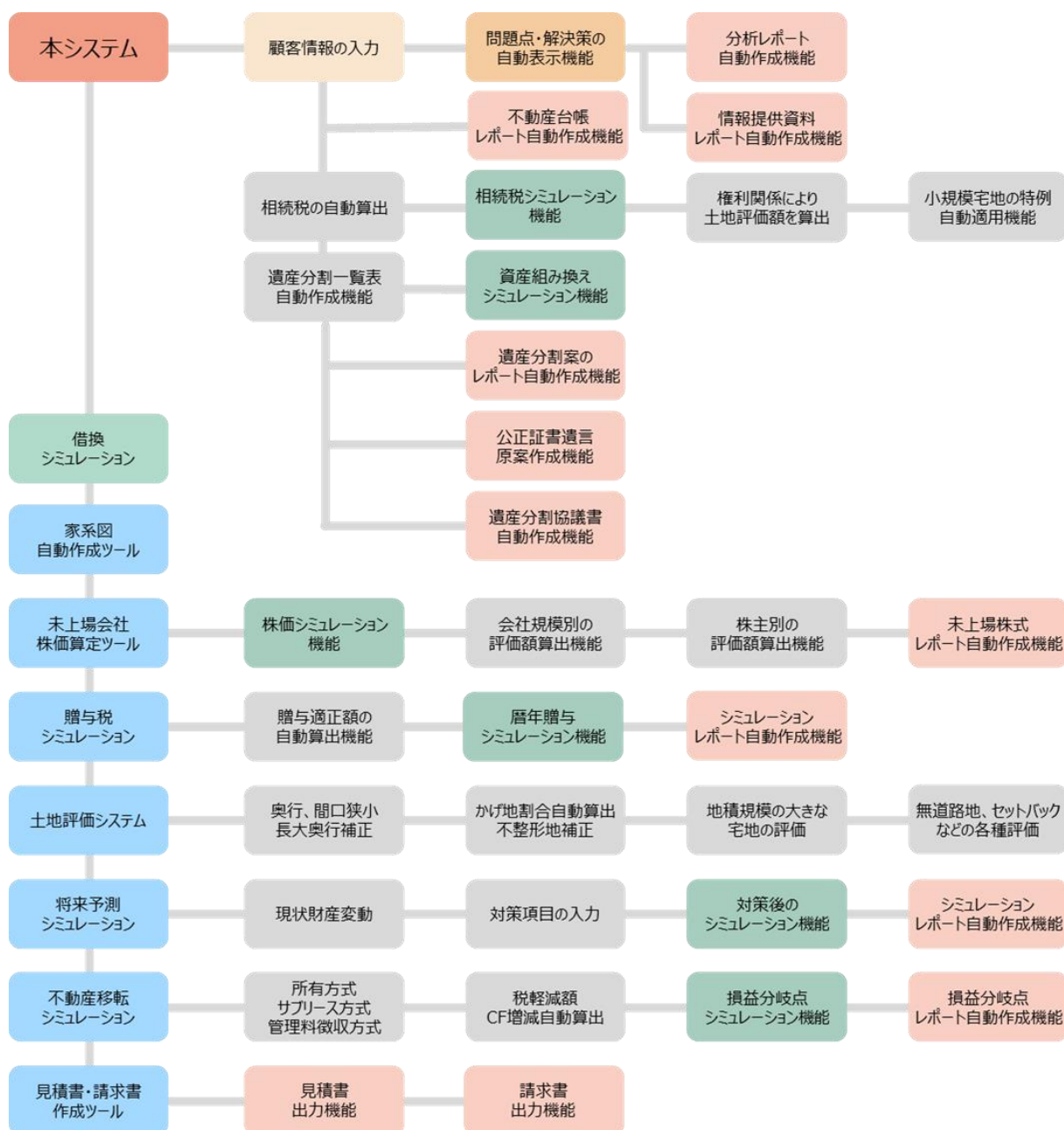
データ入力シートから出力（データ入力シート内の出力をクリックして分離されたブック）されたブックを他拠点からメール等で受け取った場合に活用します。送付されたブックから自動的にデータを読み取りデータ入力シートに反映させることができます。

<最新版ダウンロードサイト>

本システムは日々バージョンアップ作業を行っており、ここから最新版のバージョンアップファイルをダウンロードすることができます。また、本システムの詳細な入力手順書をダウンロードすることができます。

6. 主な機能

顧客データを入力することにより相続税試算から着眼点・対策を自動表示し、分析レポート・情報提供資料を自動作成します。また、遺産分割一覧表から公正証書遺言原案、遺産分割協議書の自動作成、未上場会社株価算定など従来の作業が大幅に効率化されます。各種レポートはパワーポイントで出力され、お客さまに合わせて自由に修正・加工することができます。



7. データ入力シート上の各種ボタン機能

The screenshot shows a complex data input form for estate planning. It includes sections for personal information, family details, assets, liabilities, income, and real estate. Numbered callouts (1-33) point to specific buttons and features:

- 1: 印刷 (Print)
- 2: 検索 (Search)
- 3: 印刷ボタン (Print Button)
- 4: 印刷ボタン (Print Button)
- 5: 印刷ボタン (Print Button)
- 6: 印刷ボタン (Print Button)
- 7: 印刷ボタン (Print Button)
- 8: 印刷ボタン (Print Button)
- 9: 印刷ボタン (Print Button)
- 10: 印刷ボタン (Print Button)
- 11: 印刷ボタン (Print Button)
- 12: 印刷ボタン (Print Button)
- 13: 印刷ボタン (Print Button)
- 14: 印刷ボタン (Print Button)
- 15: 印刷ボタン (Print Button)
- 16: 印刷ボタン (Print Button)
- 17: 印刷ボタン (Print Button)
- 18: 印刷ボタン (Print Button)
- 19: 印刷ボタン (Print Button)
- 20: 印刷ボタン (Print Button)
- 21: 印刷ボタン (Print Button)
- 22: 印刷ボタン (Print Button)
- 23: 印刷ボタン (Print Button)
- 24: 印刷ボタン (Print Button)
- 25: 印刷ボタン (Print Button)
- 26: 印刷ボタン (Print Button)
- 27: 印刷ボタン (Print Button)
- 28: 印刷ボタン (Print Button)
- 29: 印刷ボタン (Print Button)
- 30: 印刷ボタン (Print Button)
- 31: 印刷ボタン (Print Button)
- 32: 印刷ボタン (Print Button)
- 33: 印刷ボタン (Print Button)

- データ入力シートに入力されたデータをDATAファイルに登録(保存)します。上書き登録ができますのでこまめに登録してください。
- DATAファイルに登録してあるデータを検索しデータ入力シートに表示することができます。
- DATAファイルに登録しているデータを一覧表で確認することができます。
- 本システムをサーバー等で利用されている場合、ご自身のデータと他の担当者のDATAファイルに登録している顧客データを一覧表で確認することができます。
- 本システムをサーバー等で利用されている場合、他の担当者のDATAファイルをご自身のデータ入力シートにデータ呼び出し、データの確認、修正等を行うことができます。
- データ入力シートのデータをNTTデータの「相続の達人」にインポートさせる場合に使用します。反映できるデータは第11表のみです。
- 新たな顧客データを入力する場合にクリックします。
- 相続における問題点を、入力されたデータ上ではなく定性面で相続における問題点をチェックします。
また、暦年贈与・養子縁組・更地の有効活用等の対策スキーム図を強制的に出力させることができます。
- 相続税算出の各種設定を行うことができます。各相続人の取得割合の設定、配偶者の税額軽減の有無、未成年者・障害者控除、贈与の持ち戻し、農地の納税猶予設定等を行うことができます。
- 入力された顧客データを自動的に分析し、相続における問題点、解決方法等を一覧表に自動表示します。
- 遺産分割を検討する場合に使用します。
- 株価算定ツールで自社株式の評価を行うことができます。初期画面からも株価算定ツールを起動することができます。
- 家系図自動作成ツールで家系図を作成することができます。初期画面からの家系図自動作成ツールを起動することができます。
- お客さまとの交渉過程、提案内容、反応等をメモする場合に使用します(入力された内容はDATAファイルに保存されます)。
- 一次・二次相続税合計額が一番軽減される配偶者の一次相続における取得財産額を自動計算します。
- データ入力シートのデータを送付用として別ブックに出力することができます。また財産目録を作成することができます。
- 配偶者自身が保有している財産額を入力します。二次相続税の算出で加算されます。
- 相続税額の計算過程を第1表で確認することができます。
- 操作方法が分からない場合に、ここから調べることができます。また操作研修動画で操作方法の詳細を確認することができます。
また、初期画面の操作説明動画一覧で各項目を短い動画で入力の注意点や操作方法等を確認することができます。
- 最低限必要な情報(相続人、各資産額)を入力するだけで簡易版の現状把握レポートの作成ができます。
- 預貯金、有価証券等の財産明細を入力する場合に使用します。遺産分割、公正証書遺言の原案作成を行う場合は入力必須です。
- 相続人情報の詳細、法定相続割合、民法上の割合、未成年者控除額、障害者控除額、贈与の持ち戻し、税額控除額を確認・入力・変更することができます。
- 入力された不動産の台帳を利用単位で作成します。作成された台帳には地図、物件の写真、路線価図等を貼り付けて使用します。
- 入力された住所からワンクリックでGoogleマップを表示することができます(インターネット回線が必要)。
また、土地の入力時に路線価URLを入力している場合、最新または過去の路線価図を簡単に表示することができます。
- 小規模宅地の特例が適用された土地、面積、評価減の金額を確認することができます。
- 土地の入力において筆明細を入力している場合に、筆明細を確認することができます。
- 不動産入力フォームで2024年1月改正のマンション評価を行った物件について評価内容を確認することができます。
- 農地の納税猶予を適用する場合に使用します。入力された不動産から生産緑地、農地、田畑等についてデータを取得し、農業相続人および農業投資価格を入力するだけで納税猶予額を算出します。
- 居住権、敷地利用権の評価を行うことができます。
- 不動産の評価方法(計算式)を確認することができます。
- 小規模宅地の特例を適用する土地をプルダウンメニューから選択します。
- 小規模宅地を適用する土地の任意指定や適用面積、減額金額を個別に指定することができます。
- 国税庁のホームページおよび全国地価マップに自動でアクセスすることができます(インターネット回線が必要)。

8. 顧客データの登録

- (1) 「データ入力シート」の情報は相診ナビフォルダー→DATAフォルダ内の「TCSDATA(削除禁止)Ver2.xlsm」に登録(保存)されます。(図1)

(データ入力シート)

(図1)



- (2) 顧客データの登録については「データ入力シート」の①の「登録」ボタンをクリックします。顧客データが登録されている場合は黒字で「DATAファイルに登録(保存)済み」と②のように表示され、登録されていない場合は赤字で「DATAファイルに登録(保存)されていません」と③のように表示されます。

(図2)

DATAファイルに保存されている場合

データ入力シートのデータを修正した場合でも「登録」をクリックしてください。DATAファイルに上書きされます。

DATAファイルに保存されていない場合

DATAファイルに登録されていないので、必ず「登録」をクリックしてDATAファイルに登録してください。

- (3) 顧客データを修正・変更等をした場合には、赤字で「データが変更されています」と表示されますので修正したデータを登録または上書きしてください。

留意点

「データ入力シート」の右上の「×」(閉じる)をクリックして本システムを終了する際に表示されるメッセージ(図3)の中から「保存する」を選んだ場合はExcelシート上のみに保存されますので、DATAフォルダに保存する場合は必ず①の「登録」ボタンをクリックしてください。
「データ入力シートのデータが未登録です。『キャンセル』をクリックし登録してください。」というメッセージが表示された場合は「キャンセル」をクリックし、データ入力シートの①の「登録」をクリックしてDATAファイルに登録してください。

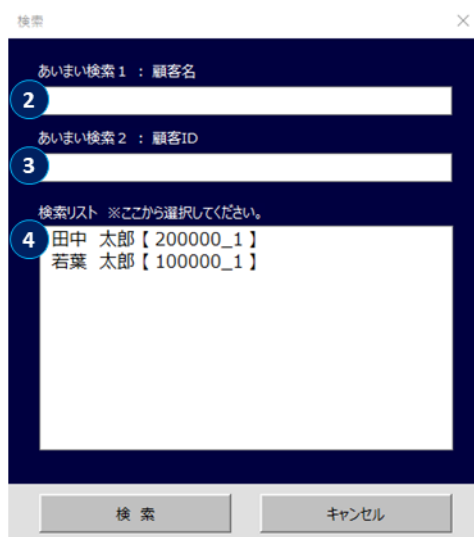
(図3)

9. 顧客データの検索

- (1) DATAファイルに登録してある顧客データの検索は「データ入力シート」の①の「検索」をクリックします。



- (2) 検索方法は②の「顧客名」または③の「顧客ID」で検索することができます。



- (3) 「顧客ID」または「顧客名」で検索する場合、顧客データを取得する方法として「閲覧・編集」、「削除」のいずれかを選択して顧客データをデータ入力シート上に取得します。

②および③に入力することで、検索した顧客が④に表示されます。該当する顧客名をクリックして⑤の「検索」をクリックします。

検索 ⑤で検索した場合

当該データはTCSDATAファイルにデータを残したまま「データ入力シート」に表示されます。顧客データの修正等を行った場合には「データが変更されております。」というメッセージが表示されますので、変更内容をDATAファイルに上書きする場合には①の「登録」をクリックしてください。通常はこちらで検索を行ってください。

削除 ⑥で検索した場合

当該顧客データはDATAファイルから消去されて「データ入力シート」に表示されます。「DATAファイルに登録(保存)されていません」というメッセージが表示されますので当該顧客データを消去する場合は「新規入力・クリア」をクリックすると完全に消去されます(復元はできません)。

検索した当該顧客データを登録したい場合は、再度①の「登録」をクリックしてDATAファイルに登録してください。

「データ入力シート」での入力はフォームから入力します。直接セルに入力することはできません。
各項目にある **入力フォーム** をクリックしフォームから入力してください。

1 入力データ		資産管理会社名		主幹法人名 (事業法人)		若森産業 株式会社			
顧客名	若森 太郎					株価①	2,597 円	発行済株式数	100,000 株
顧客ID	100000_1		形態						
担当者名	▲	DATAファイルに登録(保存)済みです							

操作・入力方法、動機による確認		経路モード入力		経路モード選択	
2 指定相続人 5人	詳細確認	入力方法①			

【 資産・負債状況 】		入力方法②	
現金資産	1,346 百万円		
現金	25 百万円	資産 明細	
預貯金	200 百万円		
有価証券	23 百万円	生命保険 非課税特約 利用人数 ↓	
自社保・出資金	234 百万円		
個人年金	10 百万円		
生命保険	30 百万円	5 人	
* その他	35 百万円		
不動産	自動計算 790 百万円		
総貸債	90 百万円	超過	
* 負債①	90 百万円	無	
* 負債②			

※注記①：「私生活費」取得済(借入金)は記載可能(入力)
※注記②：「借入返済」取得済(借入金)は記載可能(入力)

【 収入・支出状況 】		入力方法③	
稼収入 (年間)	65 百万円		
給与所得	確定 15 百万円		
* 不動産所得	50 百万円		
公的年金	百万円		
私的年金	百万円		
* その他	百万円		

【 株主構成 】		入力方法④	
若森 太郎	親類 同族 役職名 年齢 株式数 出資割合 評価額 経営 後継者		
若森 一郎	本人 同族 会長 69 90,000 90.0%	234 関与 後継者	
若森 次郎	長男 同族 社長 42 4,000 4.0%	10 関与 後継者	
若森 春子	次男 同族 専務 39 2,000 2.0%	5 関与 後継者	
	配偶者 同族 取締役 66 2,000 2.0%	5 関与 後継者	

相続時控除課税持ち戻し		主幹法人宛貸付の有無	
純資産額①	1,309 百万円		無
資産管理会社宛貸付の有無			無

その他株主		株主合計	
-	非同族	-	2,000 2.0%
-	-	-	100,000 100.0%
-	-	-	260 -

1. 本人情報、資産管理会社情報、主宰法人情報の入力

顧客名		若菜 太郎	資産管理会社名		若菜不動産株式会社	主宰法人名 (事業法人)		若菜産業 株式会社
顧客ID		100000_1	形態		管理料徴収方式	株価@	2,597 円	発行済株式数
担当者名		▲	DATAファイルに登録(保存)済です					100,000 株

本人、貴府管理会社、主事法人情報

本人情報

顧客名 若菜 太郎

店番号・顧客No. 100000_1

住所 東京都千代田区1丁目1番1号

担当者名 ●●●

担当者ID JY12345

主事法人情報 (本人が経営している事業会社を入力)

主事法人名 若菜屋 株式会社

相続和法上の株価① 2,597 円/株

法人税法上の株価② 4,358 円/株

発行済株式数 100,000 株

主事法人地権金の有無 無

貴府管理会社情報 (不動産管理会社がある場合入力)

貴府管理会社名 若菜不動産管理株式会社

形態 所有方式

貴府管理会社地権金の有無 無

資産管理会社名には不動産管理会社がある場合に入力してください。
資産管理会社の形態はプルダウンから選択してください。

1 法人名は事業会社(資産管理会社を除く)がある場合に
 入力してください。
 2 自社株式の1株あたりの相続税評価額
 3 1株あたりの法人税上の時価
 4 発行株式数を入力してください。

2. 家族構成: 推定相続人の入力 (最大30人まで入力可)

推定相続人 6人		詳細確認	入火フォーム	
続柄	氏名	年齢	同居 別居	持家 有・無
被相続人	菅葉 太郎	75	—	—
配偶者	菅葉 春子	73	同居	無
長男	菅葉 一郎	48	別居	有
次男	菅葉 次郎	46	別居	無
長女	斎藤 夏子	43	別居	有
孫息子 (前妻)	田中 明子	35	別居	無
	高橋 冬子	46	別居	無

● 配偶者とも養子縁組していることを示しています

▲：二次相続人から除外することを示しています

【二次の縁組チェック】欄は、養子・孫養子がいいる場合で、配偶者と養子縁組している場合にチェックしてください。
※ 縁組の入力欄をダブルクリックすると入力フォームが表示され、簡単に入力できます。 受遺者の自動移動入力設定

縁組人1		指定相続人2		指定相続人3								二次の縁組チェック		二次が父除外	
続柄※	氏名	生年月日	年齢	関係別居	持ち家	未成年者控除	障害者								
被相続人	若菜 太郎	1949/04/11	75												
配偶者	若菜 春子	1951/09/30	73	同居	無										
長男	若菜 一郎	1975/10/15	48	別居	有										<input type="checkbox"/> 二次から除外
次男	若菜 次郎	1978/03/01	46	別居	無										<input type="checkbox"/> 二次から除外
長女	若菜 夏子	1981/08/10	43	別居	有										<input type="checkbox"/> 二次から除外
孫養子	田中 明子	2010/06/20	14	同居	無							<input checked="" type="checkbox"/> 配偶者と縁組			
子(前妻)	高橋 冬子	1973/06/01	51	別居	無							<input checked="" type="checkbox"/> 配偶者と縁組			<input type="checkbox"/> 二次から除外
												<input type="checkbox"/> 配偶者と縁組			<input type="checkbox"/> 二次から除外
												<input type="checkbox"/> 配偶者と縁組			<input type="checkbox"/> 二次から除外
												<input type="checkbox"/> 配偶者と縁組			<input type="checkbox"/> 二次から除外
												<input type="checkbox"/> 配偶者と縁組			<input type="checkbox"/> 二次から除外
												<input type="checkbox"/> 配偶者と縁組			<input type="checkbox"/> 二次から除外
												<input type="checkbox"/> 配偶者と縁組			<input type="checkbox"/> 二次から除外

二次相続人に含まない場合にチェックします

- ・続柄欄：配偶者、子、子の代襲、前妻(子)、養子(孫)、養子、兄弟姉妹、兄弟姉妹の代襲、親、半血兄弟姉妹、半血兄弟姉妹の代襲、孫養子代襲、受遺者をプルダウンメニューから選択してください。または続柄欄をダブルクリックすると選択フォームが表示されリストから選択することができます。
- ・氏名欄：氏名欄が空欄の場合、分析レポートの作成、遺産分割一覧表の作成することができません。
同居・別居欄、持家欄：自宅の小規模宅地の特例が使用できるかどうかのチェック、同居親族と別居親族の分割における問題点をチェックしていますので、入力することをお勧めします。
- ・生年月日から年齢を自動算出します。生年月日を入力するとデータを検索した時も生年月日から年齢を算出して表示します。
- ・未成年者控除を適用する場合は、プルダウンメニューから「適用」を選択、障害者控除を適用する場合は、プルダウンメニューから「一般障害者」または「特別障害者」を選択してください。ただし年齢欄が空欄の場合は控除額が計算されませんので、年齢は必ず入力してください。

3. 資産・負債、収入・支出入力欄

各資産明細を入力しない場合は、各資産に金額を入力してください。
資産明細を入力するには「資産明細」をクリックしてください。資産明細の合計金額がデータ入力シート上に反映されます。
遺産分割の検討、公正証書遺言の原案、遺産分割協議書を作成する場合は資産明細への入力は必須です。

- ・資産明細が入力されている場合、資産名の頭部のセルが紫色に反転します。
- ・収入欄の「不動産収入または不動産所得」の項目は、不動産収入で入力した場合は「不動産収入」に、不動産所得で入力した場合は「不動産所得」に変更してください。
- ・不動産所得で入力した場合、減価償却費を収入の「その他」欄に入力し、項目を「減価償却費」に変更してください。
- ・負債の入力に際しては、団体信用生命保険が付与されており、死亡時に完済となる負債を除いて入力してください。
- ・遺産分割一覧表を作成する場合は資産明細に入力することをお勧めします。
- ・収入、支出欄は年間のキャッシュフローを把握する上で重要な要素となりますので入力することをお勧めします。

＜資産明細の入力＞

明細シートは「右クリック機能」、「オートフィル機能」、「コピー＆ペースト」を解除し入力の効率性を高めています。
罫線等の書式は左メニューの「書式設定」または「戻る」ボタンで自動的に書式設定を行います。

預金明細		単位：円							
		評価額合計 200,162,500							
登録・修正	No	基準日	金融機関・支店名	口座番号	科目	通貨（円建て以外）	為替レート	外貨残高	相対税評価額
書式設定	1	2017/02/09	〇〇銀行	1234567	外貨預金	USD	113.25	50,000	5,662,500
印刷	2	2017/02/09	〇〇銀行	1234568	普通預金				110,000,000
クリア	3	2017/02/09	〇〇銀行	1234569	普通預金				5,000,000
戻る	4	2017/02/09	〇〇銀行	1234570	普通預金				78,000,000
	5	2017/02/09	〇〇銀行	1234571	普通預金				1,500,000

※ 口座番号欄、証券番号欄に空白文字を入力するとレポート作成時にエラーメッセージが表示されますので、空白文字は入力しないでください。

「生命保険明細」の入力に関する注意点

- ・生命保険の非課税枠を活用するためには、被保険者名はデータ入力シートの本人欄の氏名と同一に入力しなければなりません。
非課税枠に反映されない例として
データ入力シートの本人欄：若葉 太郎
明細に入力された被保険者名：若葉太郎 苗字と名前の間にスペースがあるかないかで別人と判断されるため非課税との判断になりません。

「自社株式明細」の入力

- ・主宰法人が複数(グループ会社)ある場合は、親会社のデータの他に子会社の自社株評価を行って自社株明細に入力してください。

「その他明細」に入力する項目

- ・個人から法人への貸付金
- ・死亡退職金
- ・代償分割資金 等

「債務明細」の入力の注意点

- ・本人が死亡によりローン専用の団体生命保険で清算される借入については入力しないでください。
- ・葬儀代は債務明細に入力してください。

主筆法人を経営されている場合、株主の情報を入力してください。

氏名	続柄	同族	役職名	年勤	株式数	短気外	後継者
若葉 太郎	本人	同族	会長	69	90,000	関与	-
若葉 一郎	長男	同族	社長	42	4,000	関与	後継者
若葉 次郎	次男	-	専務	39	2,000	関与	-
若葉 香子	配偶者	同族	取締役	66	2,000	関与	-
その他株主	非同族					短気外	-

- ・株主名：株主名を入力してください。
- ・続柄：プルダウンメニューから選択してください。
- ・同族：同族か非同族かを選択してください。
- ・役職名：プルダウンから選択してください。
- ・株式数：株主の出資している株式数を入力してください。
- ・経営：株主が経営に関与している場合は「関与」、関与していない場合は「経営外」を選択してください。
- ・後継者：後継者が決まっている、または後継者候補がいる場合は、株式数が0株でも入力し「後継者」を選択してください。

お客さまの相続税額の把握のみをしたい場合など、最低限のデータを入力するだけで、現状把握レポートを作成することができます。
下記ボタンをクリックして表示されたフォームにデータを入力してください。

■ 相続人

続柄	氏名
本人	若菜 太郎
配偶者	若菜 春子
長男	若菜 一郎
次男	若菜 次郎
長女	若菜 麗子
次女	田中 明子

■ 貸入内訳

	金額	
現金	25,000,000	円
預貯金	200,162,500	円
有価証券	22,500,000	円
個人年金	10,000,000	円
生命保険	30,000,000	円
死亡退職金※	25,000,000	円
自社株式	233,730,000	円
不動産	789,934,200	円
その他	10,000,000	円
負債	90,000,000	円

※ 死亡退職金はその他明細に入力され、
その他欄に合算して入力されます。

簡易版はお客さまからの提供資料が不足している状態で試算する場合、または相談会等でお客さまの面前で試算する場合などに使用してください。

簡易版のデータを入力する際、データ入力シートに入力されているデータを消去したうえで簡易モードのフォームでデータを入力します。資産明細を入力している、または不動産の明細を入力しているケースでは、簡易版での入力是不可能です。簡易版は不動産の明細を入力しない、または資産明細を入力しない場合などに短時間で現状把握レポートを作成するためのものです。

- (1) **簡易版:現状把握レポート作成データ入力** をクリックします。
- (2) フォーム上に相続人、資産額、負債額を入力し **入力** をクリックします。
- (3) データ入力シート上の **顧客ニーズ分析** をクリックします。
- (4) 家系図をレポートに挿入する場合は、顧客ニーズ分析シート上の **家系図** をクリックすると家系図自動作成ツールが立ち上がりますので家系図を作成し **レポートへ反映** をクリックしてください。作成後は家系図自動作成ツールを閉じてください。
- (5) **簡易版は対策スキーム図(スライド)** を出力させないように R作成欄は全て「×」になります(初期設定)。
- (6) **分析レポート作成** をクリックして現状把握レポートを作成します。

11. 相続税算出設定

登録

検索

登録済データ

184件

全システムデータ閲覧

他のシステムへ接続

印刷

相続の達人XML出力

初期画面

新規入力・ウェア

定性面チェックレポート強制出力

算出設定・確認

相続ニーズ分析

遺産分割ツール

株価算定ツール

家系図作成ツール

その他機能

配偶者の取得財産計算

データ出力

	算出設定状況	種類	設定項目	設定内容
2	設定・確認	未設定	選択	ヒアリング情報・レポート強制出力
3	設定・確認	未設定	強制	法定相続割合指定
4	設定・確認	未設定	分割	取得金額指定
5	設定・確認	未設定	分割	受遺者自動分割
6	設定・確認	未設定	分割	相続割合指定（相続人全員）
7	設定・確認	未設定	分割	相続割合指定（配偶者のみ）
8	設定・確認	税額軽減あり	選択	配偶者税額軽減の適用有無
9	設定・確認	未設定	強制	未成年者・障害者控除額
10	設定・確認	未入力	入力	贈与持ち戻し・各種税額控除額の入力
11	設定・確認	未設定	選択	農地の納税猶予指定
12	設定・確認	-	-	二次相続財産計算指定
13	設定・確認	未設定	強制	未成年者・障害者控除額
14	設定・確認	未入力	入力	贈与持ち戻し・各種税額控除額の入力

1. ①の「算出設定・確認」から各種設定を行うことができます。
2. 定性面のチェック、レポートの強制出力指定をすることができます。定性面チェックは必ず確認するようにしてください。
3. 法定相続割合の強制変更（通常は自動で算出されます）。
4. 各相続人の取得金額を財産ごとに金額で指定することができます。
各財産の取得金額の指定、小規模宅地の特例の指定、生命保険・死亡退職金の非課税金額の指定等を行うことができます。
5. 相続人に受遺者がいる場合、自動的に相続割合を割り振る場合に指定します。
6. 各相続人の相続割合を任意で指定することができます（民法上の取得割合）。
7. 配偶者のみの相続割合を指定することができます。
8. 配偶者の税額軽減額の適用有無を指定することができます。
9. 未成年者控除額、障害者控除額を自動計算によらず控除額を指定することができます。
10. 暦年贈与、相続時精算課税制度による贈与の持ち戻し、各種税額控除額を入力することができます。
11. 農地の納税猶予の適用有無を指定することができます。
12. 二次相続税の算出設定を行うことができます。小規模宅地の特例、生命保険・死亡退職金の非課税額の指定等。
13. 二次相続の未成年者控除額、障害者控除額を自動計算によらず控除額を指定することができます。
14. 二次相続の暦年贈与、相続時精算課税制度による贈与の持ち戻し、各種税額控除額を入力することができます。

■ 相続人欄の⑮の「詳細確認」からも相続割合の変更、未成年者・障害者控除額の変更、贈与の持ち戻し等の入力ができます。

推定相続人 5人

15

詳細確認

入力から追加

氏名	年齢	関係	持分率
被相続人 若菜 太郎	55	-	-
配偶者 若菜 香子	53	配偶	無
長男 若菜 一郎	18	相続	無
次男 若菜 次郎	15	相続	無
長女 若菜 望子	13	相続	無
次女 田中 晴子	9	相続	無

戻る

二次相続人

印刷

推定相続人入力フォーム

法定相続割合の強制適用

民法上の取得割合の強制適用

未成年者控除、障害者控除の指定

持ち戻し、税額控除の入力・編集

第1表

1次相続 推定相続人一覧

氏名	生年月日	年齢	法定相続割合	取得割合	関係	持分率	二次相続割合	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除	未成年者控除
			自動計算	自動計算															
被相続人	若菜 太郎	1969/04/11	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配偶者	若菜 香子	1971/09/30	53	1 / 2	1 / 2	配偶	無												
長男	若菜 一郎	2005/10/15	18	1 / 8	1 / 8	相続	無												
次男	若菜 次郎	2009/03/01	15	1 / 8	1 / 8	相続	無	適用	300,000										
長女	若菜 望子	2011/08/10	13	1 / 8	1 / 8	相続	無	適用	500,000										
次女	田中 晴子	2015/06/20	9	1 / 8	1 / 8	相続	無	適用	900,000										
				/	/														
				/	/														
				/	/														
				/	/														
				/	/														
				/	/														

12. 不動産の入力

所有不動産を入力するだけで、土地の用途と建物の権利関係から自動で相続税評価額を算出することができます。
また奥行補正、不整形地の評価等の評価は不動産評価システムで評価することができます。

土地の入力件数は利用単位で100物件までです。入力する前に利用単位ごとに仕分けてから入力すると効率的です。
土地の入力は利用単位で入力し、筆が何筆かに分かれている場合は、筆明細(1利用単位30筆まで)を入力します。

1 2 3 4 5 6 7 8														
不動産レポート NAF 路線価図 小規模宅地の特例 減額金額 筆明細 マンション評価 農地の納税猶予指定 居住権評価 土地用途と建物の組み合わせ 小規模宅地の特例 最終行 不動産ワンポイント解説 クロウド鑑定解説														
9 10 11 12 13 14 15														
所有不動産	土地	建物	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細	筆明細
物件番号	上段：住所(住居表示) 下段：地番(登記簿)	用途 小規模 下段：住居表示 地番(登記簿)	路線価 標準地区	面積 共有 持分	路線価 標準地区	面積 共有 持分	路線価 標準地区	面積 共有 持分	路線価 標準地区	面積 共有 持分	路線価 標準地区	面積 共有 持分	路線価 標準地区	面積 共有 持分
1	東京都〇〇区〇〇町1-2-1 東京都〇〇区〇〇町1-1540 外2筆	住宅 14 住宅	路線価 500.00	1 / 1	200	60%	47,200	本人	2004 20	293.13	1 / 1	2	10,000	10,000
2	東京都〇〇区〇〇町1-2-1	住宅 14 住宅	路線価 /	/	/	/	/	本人	1995 29	280.52	1 / 1	2	1,500	1,500
3	東京都〇〇区〇〇町1-2-4 東京都〇〇区〇〇町1-351 外1筆	住宅 14 住宅	路線価 300.00	1 / 1	400	60%	120,000	/	/	/	/	/	/	/

- 不動産レポートをクリックすると利用単位で不動産台帳を作成することができます。作成された台帳に地図や写真を挿入して使用します。
- 入力された住所からGoogleマップを一発表示するボタンを作成します。
また、不動産フォームで入力された路線価図のURLを一覧表で表示します。
- 小規模宅地の特例が適用された土地の適当面積、減額金額を確認することができます。
- 筆明細を確認することができます。
- 不動産入力フォームで入力したマンション評価の内容を確認することができます。
- 農地の納税猶予を適用する場合に、納税猶予適用地の指定、農業相続人、農業投資価格を入力します。
- 居住権、敷地利用権の評価を行うことができます。
- 土地の用途と建物の所有者、賃貸状況の組み合わせを一覧表で確認することができます。
また、開いたフォーム上に「土地の評価方法」をクリックすると評価方法を確認することができます。
- 不動産入力フォームを表示します。
- 小規模宅地の特例を適用する方式を選択することができます。
・小規模宅地：自動判定・・・評価減の一番大きい土地を自動判定し適用します。
・小規模宅地：居住用適用外・・・居住用の小規模宅地の特例において条件を満たしておらず、自宅に適用させない場合に選択します。
・小規模宅地：適用外・・・すべての土地に小規模宅地の特例を適用させない場合に選択します。
・小規模宅地：任意指定・・・小規模宅地の特例を自動判定ではなく、任意で指定する場合に選択し、かつ、不動産入力フォームで「小規模宅地の任意適用」をチェック、または⑪の「小規模指定」で適用する土地を選択します。
- 小規模宅地を適用したい土地の任意指定、または小規模宅地の適用面積・減額面積を指定することができます。
- 国税庁の路線価図または全国地価マップにアクセスすることができます。
- 「筆明細あり」を表示されている場合は、筆明細が入力されていることを示します。④の「筆明細」で内容を確認することができます。
- 用途欄がピンク色に反転している土地に小規模宅地の特例が適用されていることを示しています。
- 建物の「固定資産税評価額」欄では建築費から固定資産税評価額(仮定)の算出、または容積率から最大建築可能面積における固定資産税評価額(仮定)を算出することができます。

<不動産入力の流れ>

【路線価図】 不動産入力フォーム 土地の入力は利用単位で100物件までです

1 2 3 4 5

路線価図 筆明細 筆明細 筆明細 筆明細

土地明細 (利用単位で入力)

物件番号 ④土地の用途 リスト 上段：住所 下段：地番(登記簿) 地目 利用単位面積(m²) 共有持分 路線価(円) 償却率割合 共有名義

1 6 7 8 9 10

②筆入力・修正 (修正する場合検索後に行ってください)

筆明細評価額(円) 小規模宅地の特例(円) 小規模宅地の特例(円) 小規模宅地の特例(円)

建物明細

所有者(賃貸状況) 家賃額 種類 構造 延床面積(m²) 地上階数 建築年(YYYY) 共有持分 固定資産税評価額(円) 共有名義 相続税評価額(円)

11 12 13

入力 修正 削除方法 シート入力 フォームを見る

- データ入力シートの所有一覧にある「不動産入力フォーム」をクリックして不動産フォームを立ち上げます。
- <任意>土地評価システムでの評価
不動産入力フォーム上の「土地評価システム」をクリックして土地評価システムを立ち上げ、二方路線、奥行補正、不整形地等の評価を行います。評価は利用単位ごとに行います。
土地評価システムで1利用単位の評価を出し、「不動産フォームへ反映」をクリックすると不動産フォームに評価したデータが反映されます。
- <任意>筆明細の入力
筆入力については、すべての土地の筆入力をするか、すべて入力しないか選択できません。
「筆入力・修正」をクリックして筆明細を入力します。
筆明細を入力しましたら 不動産フォームへ反映 をクリックすると筆明細の合計が不動産フォームへ反映されます。
テキストボックスで空欄になっている箇所および建物がある場合は建物明細を入力します。

13. 筆入力・修正

不動産明細を入力する場合、1利用単位で数筆に分かれている土地の場合は筆入力を行います。**1利用単位ごとに30筆まで**入力することができます。入力シートには利用単位ごとに1行で入力されます。

<入力手順>

- (1) 不動産フォームの「土地の用途」を入力し **②筆入力・修正** をクリックします。土地明細(筆)入力フォームが立ち上がります。
- (2) 不動産フォームにデータが入力されている場合、そのデータが土地明細入力フォームの1行目に反映されます。
- (3) 面積が合計で反映されていますので、1筆の面積に修正します。
- (4) 次の筆を入力する場合、「枝番」①を入力すると「地目」「土地の用途」、「共有持分」、「路線価」、「借地権割合」、「共有名義」は自動反映します。「土地面積」を入力します。枝番が未入力の場合、データは反映されませんのでご注意ください。
- (5) 最後に「地番」の入力欄をダブルクリックすると上段の地番が表示されますので末尾のみ修正して入力できるようになっています。
- (6) すべての入力が完了したら **不動産フォームへ反映** ②をクリックし不動産フォームに戻ります。筆明細の合計値が不動産フォームに反映されます。

土地明細入力フォーム

利用単位ごとに地番で筆を入力してください

戻る 検索: 1

【住所欄の入力方法】
・プルダウンからの住所選択機能は使用できません。直接入力してください。
・2行目以降は、枝番の入力または住所欄をダブルクリックすると上の住所がコピーされますので、地番のみを修正してください。

物件番号	枝番	地番	地目	土地の用途	筆面積(㎡)	共有持分	路線価(円)	借地権割合(%)	共有名義
1		東京都中央区〇〇町1-1540	宅地	自宅	300.00	1	1	200,000	60
2		東京都中央区〇〇町1-1541	宅地	自宅	150.00	1	1	200,000	60
3		東京都中央区〇〇町1-1542	宅地	自宅	50.00	1	1	200,000	60

不動産フォームへ反映

【路線価地区】 不動産入力フォーム 土地の入力は利用単位で1000物件までです

路線価地区 挿入 検索物件番号 検索 検索物件の消去 マンション評価 ①土地評価システム 路線価検索 他地区入力へ データファイルへ登録

土地明細 (利用単位で入力)

物件番号 ①土地の用途 リスト 上段:住所 下段:地番(登記簿) 地目 利用単位面積(㎡) 共有持分 路線価(円) 借地権割合 共有名義

1 自宅 東京都中央区〇〇町1-2-1 宅地 500.00 1 1 200,000 60

居住権設定 東京都中央区〇〇町1-1540 外2筆

ここから筆明細を入力してください。

② 筆入力・修正 (修正する場合検索後に行ってください)

相続税評価額強制入力 (小規模減額) ㎡ 小規模減額強制入力 ㎡ 小規模減額強制入力した場合は 選択不可 時価(任意) 円

建物明細

「本人」・「家族」・「主権人」を選択

所有者(賃貸状況)	家賃番号	種類	構造	延床面積(㎡)	地上階数	建築年(YYYY)	共有持分	固定資産税評価額(円)	共有名義	相続税評価額強制入力

備考欄

土地の補正

路線価URL http://www.rosenka.nta.go.jp/main_h29/tokyo/tokyo/prices/html/17008f.htm

<貼付方法> Ctrl + V

入力、修正、削除方法 シートへ入力 フォームを閉じる

留意点

- ・筆入力については全ての物件で筆入力しないか、するのであれば全ての物件で筆入力する必要があります。
 - ・筆入力された不動産明細を修正する場合は先に筆明細の修正を行います。
 - ・**路線価地区の場合、共有持分と路線価は同一のものを入力**します。共有持分と路線価が異なっている筆は入力できません。
 - ・**倍率地区の場合、共有持分と倍率は同一のものを入力**します。共有持分と倍率が異なっている筆は入力できません。
- ※共有持分と路線価、共有持分と倍率が異なっている場合は、別物件として入力してください。

<修正手順>

- (1) 不動産フォームを立ち上げます。
- (2) 検索物件番号に修正する物件の番号を入力し **検索** をクリックしてデータを不動産フォームに反映させます。
- (3) 次に **筆入力・修正** をクリックし土地明細入力フォームを立ち上げます。
- (4) 反映された明細を修正し **不動産フォームへ反映** をクリックします。
- (5) 不動産フォームに修正した内容(合計値)が反映されますので、**シートへ反映** をクリックしデータ入力シートに反映させます。

14.入力したセルの色が変わるケース

各項目を入力している中でセルの色が「赤」または「茶色」になる場合、入力相違していることを表しています。
この状態ではレポートの作成等はできませんので、入力を修正する必要があります。

選択が誤っていることを表しています

データが相違していることを表しています

筆明細データが相違していることを表しています。

(具体例)

所有不動産		不動産入力フォーム	小規模宅地：自動判定	小規模ヘルプ	路線価を調べる												単位：千円	
物件 番号	上段：住所（住居表示） 下段：地番（登記簿）	用途 小規模 宅地 7種：住居用 等：商業用	路線価 地区	土 地				共有：有	建 物								備考欄 （時価、賃貸割合、補正率等）	
				面積 図算評価	共有 持分	路線価 地区	地積 割合		相対税 評価額	共有 持分	延床 面積	地上 階数	固定資産税 評価額	相対税 評価額	共有：有			
1	東京都〇〇区〇〇町1-2-1 東京都〇〇区〇〇町1-1540 外 2 筆	自宅	路線価	500.00	1 / 1	200	60%	47,200	本人	2004.19	293.13	1 / 1	2	10,000	10,000			
2	東京都〇〇区〇〇町1-2-1	建物：自用	路線価		/				本人	1995.28	280.52	1 / 1	2	1,500	1,500			
3	東京都〇〇区〇〇町1-2-4 東京都〇〇区〇〇町1-351 外 1 筆	駐車場	路線価	300.00	1 / 1	400	60%	120,000				/						
4	東京都中央区日本橋大伝馬町13-7 東京都〇〇区〇〇町2-548 外 2 筆	賃貸用	路線価	546.52	1 / 1	500	60%	224,073	兄弟共有	本人	2009.14	965.85	1 / 1	10	180,000	126,000	賃貸割合：100%	
5	東京都〇〇区〇〇町1-2-4	建物：賃貸	路線価		/				本人	1985.38	562.58	1 / 1	3	4,500	3,150	賃貸割合：100%		
6	東京都〇〇区〇〇町1-2-3 東京都〇〇区〇〇町2-1310 外 2 筆	駐車場	路線価	421.06	1 / 1	350	60%	147,371				/						
7	東京都〇〇区〇〇町1-2-3 東京都〇〇区〇〇町6-130 外 2 筆	空地	路線価	300.00	1 / 1	400	60%	120,000				/						
8	東京都〇〇区〇〇町1-2-5 東京都〇〇区〇〇町1-2-5 外 1 筆	賃貸用	標準地区	226.09	1 / 1	9,500	50%	11,400	第三者	1985.38	3,714.00	1 / 1	10	3,500	2,450	賃貸割合：100%		

- 共有欄が「親子共有」になっていますので、持分が1分の1ではないことを示しています。
- 土地の用途と建物の所有者・賃貸状況の組合せが相違していることを示しています。[土地用途と建物の組み合わせ](#)をクリックして組み合わせを確認し、用途欄または建物所有者・賃貸状況欄を修正してください。
- 筆明細に入力してある用途とデータ入力シートの用途が相違していることを示しています。
不動産フォームで当該物件の検索を行い修正してください。
- 筆明細に入力されている路線価とデータ入力シートに入力している路線価が相違していることを示しています。
不動産フォームで当該物件の検索を行い修正してください。

15. 土地評価システム

土地評価システムでは奥行補正、間口狭小補正、奥行長大補正、不整形地補正、旗竿地評価、セツバック、無道路地、がけ地補正、高架線、重要文化財指定、土地区画整理事業、地積規模の大きな宅地等の評価等を行うことができます。

＜初期画面＞

The screenshot displays the 'DATAファイルに数値保存' (Save Data File) window. It includes input fields for '保存先' (Save Location), '保存形式' (Save Format), and '保存範囲' (Save Range). The '保存先' field contains 'D:\00000_1'. The '保存形式' dropdown is set to 'CSV'. The '保存範囲' dropdown is set to '全データ保存'. Below these fields, there's a confirmation message: 'DATAファイルに数値保存します'. Numbered callouts (1-6) highlight specific UI elements: 1 points to the title bar, 2 to the '保存先' field, 3 to the '保存形式' dropdown, 4 to the '保存範囲' dropdown, 5 to the 'OK' button, and 6 to the 'キャンセル' (Cancel) button.

1. DATAファイルに登録する場合にクリックします。土地評価算定シートの「本物件の登録」をクリックしてもDATAファイルに登録することができます。
2. DATAファイルに登録されているデータを検索する場合にクリックします。検索されたデータは上図のように表示されます。
3. 表示されている物件の修正を行う場合に物件番号を入力し、③の「物件データ修正」をクリックします。土地評価算定シートにデータが反映されますのでデータを修正します。修正後、「本物件に登録」(下図③)をクリックしてDATAファイルに登録します。
4. 表示されている物件を削除する場合にクリックします。削除する物件番号を入力し、④の「明細削除」をクリックします。削除後は必ず「登録」をクリックしてDATAファイルに登録してください。
5. 別のお客さまの土地評価を行う場合にクリックします。
6. 土地の評価を行う場合にクリックします。クリックすると下図の土地評価シートに移動しますので土地の評価を行ってください。
7. 他の担当者の土地評価システムのDATAファイルから検索する場合にクリックします。

＜土地評価算定シート＞

The screenshot displays a comprehensive project management software interface. At the top, there are several tabs for different views: 'Project Overview', 'Gantt Chart', 'PERT Chart', 'Resource Allocation', 'Risk Management', 'Communication', and 'Reporting'. The main workspace is divided into several sections. On the left, there's a 'Project Overview' panel with fields for project name, start/end dates, and a progress bar. The central area features a Gantt chart with tasks listed on the left and their duration bars on the right. Below the Gantt chart is a PERT chart showing task dependencies and float times. On the right, there's a 'Resource Allocation' panel showing a grid of resource usage over time. At the bottom, there's a 'Reporting' panel with various charts and tables. The interface is in Chinese and includes numerous icons and buttons for navigation and data manipulation.

1. 評価されたデータを不動産フォームに反映する場合にクリックします。当該物件は自動的にDATAファイルに登録されます。
2. 評価した内容を明細証明(第1表)で確認することができます。
3. 評価した土地をDATAファイルに登録する場合にクリックします。
4. 続けて次の物件を評価する場合にクリックします。
5. 登録した物件を修正する場合に物件番号を選択して、④の「次の物件の入力」をクリックします。
6. 評価した土地の評価証明書を作成する場合にクリックします。

＜入力手順＞

- (1) 不動産フォームから **①土地評価システム** をクリックします。
- (2) 土地情報欄、路線図の入力欄、各種補正欄に土地の情報を入力します。
- (3) **評価明細書(第1表)** ②で評価を確認します。
- (4) この物件の評価を不動産フォームに反映させる必要があるため **不動産フォームへ反映** ①をクリックします。
不動産フォームにデータが反映しますので、未入力部分を補記します。
筆明細を入力する場合は **②筆入力・修正** をクリックして筆明細を入力し **不動産フォームへ反映** をクリックします。
すべて入力したのち不動産フォームの **シートへ入力** をクリックします。
- (6) 不動産フォームの **①土地評価システム** をクリックして不動産評価システムに戻り、別物件の評価を同様に(1)～(5)を繰り返し行います。
- (7) 全物件の評価が終了したら初期画面の **登録** ①をクリックしDATAファイルに登録します。

16. 定性面チェック、分析レポートスキーム図の強制出力

- ① 預貯金、不動産等「データ入力シート」の内容から分析できない相続における問題点を把握するために定性面から相続における問題点を抽出することができます。
- ② 分析レポートに出力させたいスキーム図を強制的に指定することができます。

「データ入力シート」の「**定性面チェック・レポート強制出力**」をクリックし、お客さまとの会話の中で該当する項目のセルをダブルクリックすると「該当」が表示され、「顧客ニーズ分析」に反映されレポート出力することができます。
ただし、強制出力については最低限必要な出力条件を満たしている場合に限りです。



お客さまとヒアリングした内容から、該当する項目のチェック欄をダブルクリックすると「該当」が自動表示され、分析レポートに出力することができます。

項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック
再婚して前妻の子と後妻の子がいる		相続人同士の仲が悪い		後継者に多くの財産を遺したい		後継者以外の子の老後を心配している	
介護を受けている子や嫁に財産を遺したい		負債不慮な相続人がいる		認知症になるのが心配（痴呆・認知）		相続事に余額がある老朽化ビルを所有	
身体障害者の子の将来の生活を心配している		介護を受けている子と介護をしていない子がいる		名義預金がある	該当	相続遺贈の際に更地を所有している	
一部の子や孫にのみ贈与している		相続税を返納している	該当	個人で特定の上場企業の株式を3%以上保有している		<地権者> 相続が発生してから3年以内	
信託スキーム		信託スキーム		信託スキーム		信託スキーム	
株式の分散防止・後継者への経営権の集中	該当	親族以外の後継者（役員等）への経営権の集中		高齢・跡継ぎ不在で不動産の管理・運営が心配		国外財産調査の提出が面倒	
信託スキーム		信託スキーム		信託スキーム（再婚のケース）			
公営法人・NPO法人等への寄付		次世代、次々世代の後継者を指定する		血のつながっている家族への承継	該当		

■強制的に分析レポート（提案書）に出力したい項目を選択

該当する項目のチェック欄をダブルクリックすると「該当」が自動表示され、分析レポート（提案書）に出力することができます。

※「該当」を選択しても、最低限必要な条件を満たしていない場合は出力されない場合がございます。

項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック
1 遺言書の活用		2 養子縁組（預）		3 更地の有効活用		4 収益物件の1棟買い	
5 一次相続・後継者の活用		6 教育資金一括贈与		7 資産管理会社の活用（所得分散）		8 老朽化建物の建て替え	
9 生命保険（非課税枠）の活用		10 居住用不動産の配偶者への贈与		11 相続時特種課税制度を活用した収益物件の贈与		12 配偶者居住権	
13 住宅取得資金贈与の活用		14 代償分割資金を生命保険で確保		15 小規模企業共済の活用		16 結婚・子育て資金の一括贈与の活用	

【出力条件】

1 遺言書の活用	： 相続人に子がない場合に出力	9 不動産小口化商品	： 出力条件なし
2 養子縁組（預）	： 相続人に子がない場合に出力	10 居住用不動産の配偶者への贈与	： 被相続人が指定を所望している場合に出力
3 更地の有効活用	： 更地または駐車場を所有している場合に出力（土地の用途が居住用である場合には出力されません）	11 相続時特種課税制度を活用した収益物件の贈与	： 被相続人も所有している場合に出力
4 収益物件の1棟買い	： 出力条件なし	12 配偶者居住権	： 被相続人が指定を所望している場合に出力
5 生命保険（非課税枠）の活用	： 生命保険の非課税枠内に所定限度額がある場合に出力	13 住宅取得資金贈与の活用	： 子がない場合に出力
6 教育資金一括贈与	： 出力条件なし	14 代償分割資金を生命保険で確保	： 事業を営んでおり、相続人が関与している場合に出力
7 資産管理会社の活用（所得分散）	： 資産管理会社（事業用含む）などの事業を所有している場合に出力	15 小規模企業共済の活用	： 会社の経営者または役員事業を営んでいる場合に出力
8 老朽化ビルの建て替え	： 土地・建物所有している場合に出力（建物のみの入力物件は対象外）	16 結婚・子育て資金の一括贈与の活用	： 子がない場合に出力

17. 顧客ニーズ分析

「データ入力シート」に入力されたデータと定性面の情報をあらゆる角度から分析し、「着眼点」「対策」「想定ニーズ対策コメント」を自動的に表示します。

「想定ニーズ一覧」は「データ入力シート」の「顧客ニーズ分析」をクリックすると下図のようにお客さまの抱えている問題点、その問題点を解決するための手法が自動的に表示されます。

＜分析レポート作成の流れ＞

- ① **前提条件設定**をクリックしお客さまに提案する金額等に修正します。
- ② 家系図をレポートに出力する場合は、**家系図作成**をクリックし、家系図を作成後、**レポートへ反映**をクリックしてください。
(レポートへ反映をクリックしたら、家系図自動作成ツールは閉じてください)
- ③ **分析レポート作成**をクリックするとPowerPointで提案書が自動作成されます。

データ入力シート

図 1-1 顧客ニーズ分析のフロー

```

    graph LR
      A[登録] --> B[検索]
      C[営業所データ] --> D[184件]
      E[金システムへの掲載] --> F[印刷]
      G[相談の達人XML出力] --> H[印刷画面]
      I[新規入力・クア] --> J[定額型チェック  
レポート強制出力]
      K[輸出設定・確認] --> L[顧客ニーズ分析]
      M[適宜分割ツール] --> N[株価編成ツール]
      O[家賃作成ツール] --> P[その他情報]
      Q[設備費の  
取得履歴計算] --> R[データ出力]
      L --> S[想定ニーズ一覧を表示]
  
```

顧客ニーズ分析シート

顧客名	新築 太郎
店舗番号・駅名No.	100000_1
得意店名	
R作成済 ○ ×	
※店舗名の取得履歴計算	
1. 標準条件設定※1	2. 家賃作成※2
3. 分割レポート作成	4. プリンタ選択
5. 印刷	6. 操作ガイド

発行者名: 税理士会 ●●●●

< 顧客ニーズ分析シート > レポート出力件数: 40

【 想定ニーズ一覧（仮訳） 】

区画	着眼点	対策	多分活用	必要時活用	無条件活用	R作成済	適用金額	想定ニーズ対策コメント
1 ストール増設	納税資金の確保	自社株式の譲渡	○	○	○	○	*	一次相続については現金給付（有価証券、生命保険等）が可能と想定されますが、二次相続時の納税資金確保が必要であると思われます。納税資金のほだ方法として、自社の株主の移転による納税資金の確保が考えられます。後継者が自社株を譲受する場合、譲渡代金で生じる所得税のバランツ調整を工夫することが検討できます。
2 ストール増設	自社株式の承継	事業承継税制の活用	*	○	○	○	*	一次相続時に現金給付（有価証券、生命保険等）で対応すること可能と考えられますが、高額であることから事業承継税制（納税資金）を活用することで、一次相続時の納付額を軽減できる可能性があります。事業承継税制の活用を検討する場合、一定の要件を満たす必要がありますので、要件等を念めて早期に準備されることをお勧めいたします。
3 ストール増設	自社株式の承継	後継者の譲渡	○	○	○	○	*	株式の出資割合が90％で株式評価額が234万円です。創業者親権を得たため後継者のへ株式譲渡を検討することができます。株式評価額が高ければ多額の資金調達が必要で、株式譲渡した後の会社経営に支障ができることも考えられます。そのような場合は、株式引下げ対策を行ったのち株式譲渡を検討する必要があります。お客さまのお考えを聴取することが重要です。引き渡す前まで引下げておくという場合は、無償換株式を採用した後継者の財産簿への移転も検討できます。
4 ストール増設	自社株式の移転	経営権を保持したまま財産簿への移転	○	○	○	○	*	若菜 太一郎氏の歳で90％の株式を保有しています。そのうち後継者に株式を移転することを考えているかもしれませんが、オーナーは主要法人に複数の思い入れがありますので、厳密に株式承継を持ち出すことは避けてください。経営権を握っておきたいと考えているオーナーであれば、種類株式である無償換株式を採用することで、経営権を確保したまま、後継者へ株式を移転することもできます。
5 ストール増設	納税資金の確保	金庫株の活用（取得費用加算）	*	○	○	○	A	保有している預貯金、有価証券、生命保険では、相続税（一次・二次）の納税が困難と思われる。納税資金の確保として、相続発生後に取得費用加算を活用した金庫株による納税資金の確保が考えられます。その場合は、後継者が納税を確保できかどうか事前に検討する必要がある。
6 ストール増設	金庫株の資金確保	終身保険の活用	○	○	○	○	*	保有している金融資産で相続時の納税が困難に思えます。納税資金を確保する方法として、金庫株の活用が考えられます。金庫株を検討する場合は、配当可戻置があるかを確認し、さらに支払い時金が十分に確保されているかを事前に確認しておく必要があります。金庫株を行うことで、経営に必要な運転資金に不足しないことがいいう、終身保険を活用して、終身保障を行い資金を確保し、以下方法が考えられます。
7 ストール増設	分散株式の買取資金の確保	定期保険の活用	○	○	○	○	*	今現在、分散している株式の株主と経営外の方との関係は良好な関係にあっても、事業承継で後継者が会社を経営していくことになる場合、その株主と分散している株式の株主と経営外の株主との関係が良好に行きわたらない。後継者が安定し経営を行えるように分散している株式の集約を検討することをお勧めします。株式を譲受る資金として、経営者の万が一に備えて、買取資金を確保する方法として定期保険（満期死亡）の活用が考えられます。
8 ストール増設	分散株式の買取資金の確保	減価定期保険の活用	○	○	○	○	*	今現在、分散している株式の株主と経営外の方との関係は良好な関係にあっても、事業承継で後継者が会社を経営していくことになる場合、その後継者と分散している株式の株主と経営外の方との関係が良好に行きわたらない。後継者が安定し経営を行えるように分散している株式の集約を検討することをお勧めします。株式を集約する場合、株式の買取資金が困難になることも考えられるため、その資金を生命保険で確保し以下方法が考えられます。
9 ストール増設	納税資金の確保	事業保険の活用	○	○	○	○	*	オーナーの相続資金や相続発生時の金庫株取得資金を確保するため、主要法人（事業会社または資産管理会社）による事業保険の活用が考えられます。金庫株による納税資金の確保を検討する場合、金庫株で生じた後の後継者の経営権を確保できるか事前に検討することが大切です。
10 ストール増設	相続制度の圧迫	従業員持合会の活用	*	○	○	○	*	保有している預貯金、有価証券、生命保険では、相続税（一次・二次）の納税が困難と思われる。納税資金の確保として、相続発生後に取得費用加算を活用した納税資金の確保が検討できますが、その場合は、後継者が経営権を確保できかどうか事前に検討する必要があります。また、従業員が福寿厚生金の観点から、従業員持合会を設立し、オーナーの保有株式を譲渡すれば、相続制度の圧迫にも繋がります。

1. 本システムには前提条件が設定されており、前提条件を変更することでお客さまに合った最適な提案ができるようになっております。前提条件が設定してある項目は①の欄に「★」マークが表示されます。
2. 家系図をレポートに出力する場合は、レポート作成前に家系図を作成します。
3. 分析レポートを作成することができます。レポートには相続における現状把握と想定ニーズに対する対策が出力されます。出力したくない項目については③の欄をダブルクリックし「×」にすると出力を止めることができます(家系図を出力する場合は先に③の家系図作成をクリックし家系図を作成してください)。
4. DPシステムを立ち上げて情報提供資料を出力することができます。
5. レポートの対策における一覧表、スキーム図を出力しない場合にクリックします(全て○→×、×→○に変換)。簡易モードで現状把握部分のみ出力する場合は、全て×にしてください。
6. レポートの対策一覧、スキーム図に表示されるお勧め度の★の数を確認することができます。
7. 想定ニーズ一覧を別Bookに出力することができます。
8. スキーム図の内容を確認したい場合にクリックします。
9. お客さまの抱えている問題点を表示しています。
10. お客さまの抱えている問題点を解決するための対策を表示しています。
11. 前提条件が設定されている項目に「★」を表示しています。前提条件は①の「前提条件設定」からお客さまに見合った金額に必ず入力直してください。
12. レポートの対策一覧、スキーム図に出力されるお勧め度を指定することができます。1～5の数値を入力します。自動判定のお勧め度で良ければ空欄のままです。
13. R作成欄は通常「○」が表示されており、この欄が「○」になっている項目がレポートに出力されます。レポートに出力したくない項目は「○」のセルをダブルクリックすると「×」に変わりレポートの出力を止めることができます。戻す場合は再度ダブルクリックします。
14. 配偶者の取得財産額計算で配偶者に適用する小規模宅地や生命保険等の非課税金額を指定することができます。

留意点

出力されたニーズはあくまで仮説によるニーズです。出力されたニーズをお客さまとの会話の中で検証し、お客さまに有効、かつ、ふさわしい対策を提案し、実行するようにしてください。

18. 前提条件の設定

分析レポートの作成にあたり、入力されている金額等の前提条件で効果検証を行っている部分があります。
下記に表示された前提条件はお客さまに合った内容に必ず修正し、分析レポートを作成してください。

戻る

5 贈与税シミュレーション

既定値を任意指定は、前期値を任意に指定する
もので、前期状態では全額客に反映されます。

既定値を設定する

既定値を反映

既定値を変更したら反映をクリック

1

2

3

4

レポート反映

対策

データ項目

前提条件変更

任意指定の既定値

反映

マンション一室を購入し譲与する

確認

マンション一室の購入額

200

百万円

建物の固定資産税評価額

55

百万円

土地（敷地権）の相続税評価額

20

百万円

反映

収益物件の1棟買い

確認

購入する土地の時価

120

百万円

購入する建物の時価

100

百万円

建物の固定資産税評価額

60

百万円

購入する土地の面積

200.00

㎡

上記土地の路線価

500

千円

上記土地の借地権割合

70

%

反映

土地の有効活用
収益物件の建築

確認

建築場所の物件番号

任意指定

収益物件の建築費

100

百万円

建物の固定資産税評価額

60

百万円

反映

従業員持株会社への譲渡

確認

配当還元係数※（既定値：空白）

円

資本金額

10,000,000

円

従業員持株会社に譲渡する割合

30

%

反映

退職金の活用
（事業保険の加入）

確認

給与の減額金額

5

百万円

反映

本社の購入による
相続財産の圧縮

確認

購入する本社の土地の時価

240

百万円

本社の土地の面積

400.00

㎡

上記土地の路線価

500

千円

上記土地の借地権割合

70

%

購入する本社の建物時価

100

百万円

建物の固定資産税評価額

60

百万円

反映

老朽化建物の建替え

確認

建築場所の物件番号

任意指定

新しく建てる建物の用途

賃貸用

建築費

100

百万円

新築建物の固定資産税評価額

60

百万円

- 「前提条件変更」欄に入力された条件でレポートが作成されます。必要に応じて金額等を変更できます。
- 前提条件を自身で設定する場合「既定値を設定する」をクリックして任意に金額等を入力します。
- 任意で金額等を入力後「既定値を反映」をクリックすると任意で入力した金額等が反映されます。
- 「確認」をクリックすると前提条件に基づいた分析レポートの出力内容を確認することができます。
- 「贈与税シミュレーション」をクリックすると適正贈与額を算出することができます。

※表示される前提条件は、お客さまの情報を分析して該当するものしか表示されません。

留意点

- 前提条件シートの入力欄については空白にすることはできません。
- 空白の状態では前提条件シートから他のシートへ移動することができません。数値入力をするか「既定値を反映」をクリックして空白欄がない状態にしてください。

19. 分析レポート作成

顧客名 田舎 太郎 担当 田舎 太郎 100000_1

戻る 配偶者の取得財産計算 前提条件 2. 家系図作成 3. 分析レポート作成 4. DPシステム 印刷 操作ガイド

顧客ニーズ分析シート レポート出力件数: 40

【想定ニーズ一覧 (仮説)】

表示	着眼点	対策	条件設定	お勧め度	強制*	R作成	資金	適用商品	想定ニーズ対策コメント
1 スキーム確認	納税資金の確保	自社株式の譲渡				○	●	●	一次相続税については現金納付(有価証券、生命保険金等)が可能と想定されますが、二次相続税の納税資金確保が必要とされます。納税資金の捻出方法として、自社株式の後継者への移転による納税資金の確保が考えられます。後継者へ自社株式を譲渡する場合、譲渡代金にて生命保険のレバレッジ効果を活かすことも検討できます。
2 スキーム確認	自社株式の承継	事業承継税制の活用	*			○			一次相続税は現金(有価証券、生命保険金等)で納付することが可能とされますが、高額であることから事業承継税制(納税猶予)を活用することで、一次相続税の納付額を軽減できる可能性があります。事業承継税制の活用を検討する場合、一定の要件を満たす必要がありますので、要件等を念めて早期に準備されることをお勧めいたします。
3 スキーム確認	自社株式の承継	後継者への譲渡				○	●	●	株式の出資割合が90%で株式評価額が234万円です。創業初期利権を得るために後継者への株式譲渡を検討することができます。株式評価額が高ければ多額の資金調達が必要で、株式を譲渡した後の会社経営に支障がでることも考えられます。そのような場合は、株引き下げ計画を行ったのち株式移転を検討する必要があります。お客さまのお考えを聴取することが重要です。経営権をまだ握っておきたいと考えている場合は、無議決権株式を活用した後継者への財産権のみの移転も検討できます。

「想定ニーズ一覧」の中からR作成欄で「○」が表示されている項目について「分析レポート」①をクリックするとレポートを出力します。「レポート作成速度」②を指定することでパソコンの処理スピードに合った速度で出力することができます。レポートの内容は財産明細、家系図、相続税概算、納税原資の把握などの現状把握から各種対策スキームまでPowerPointに出力されます。家系図をレポートに挿入する場合、先に「家系図作成」③をクリックし家系図を作成してください。現状把握部分のみを作成する場合、「R作成欄 ○⇄×」④をクリックして「×」にすると対策スキーム図の出力を停止させることができます。また、R作成欄の○または×をダブルクリックすると○は×に、×は○に切り替えることができます。

※レポート作成前に、前提条件の設定、配偶者の取得財産計算で配偶者に適用する小規模宅地の金額・非課税金額を指定することをお勧めします。

<レポートに出力される相続税の軽減額の出力方法等を選択>

レポート出力指定

前提条件の設定 前提条件の設定内容は確認されています。

家系図の出力 家系図が作成されていらないため出力できません。

配偶者の取得財産計算 配偶者の取得財産シミュレーションを作成して出力します。

対策スキームの小規模宅地減額条件 (金額指定、任意指定を行っている場合) 小規模宅地の算出条件はありません。

お客さまの現状に基づいて、現状把握および各種対策スキームのレポートを作成します。作成されたレポートには、相続税の軽減額、相続税の総額、相続税の支払額等、税務に関する内容が出力されます。本レポートを使用して、税理士と連携をとりながら相続税の軽減額に近づけることは、税理士と連携に頼る可能性があるのでご注意ください。本レポートをお客さまに説明、または手交する場合、内容を精査した上で行うようにしてください。

この条件で出力 閉じる

1 土地贈与出力指定
土地贈与を単位単位で出力する
土地贈与を単位単位で出力する

2 相続税の計算方式指定
民法上の取得割合で相続税を算出した結果を出力する
取得金額を加重平均した割合で相続税を算出した結果を出力する

3 軽減額出力指定
納付する相続税の軽減額で出力する
相続税の総額の軽減額で出力する

- ① お勧め度による出力順を指定します。
- ② 民法上の取得割合または強制入力された取得金額で出力するか指定します。
- ③ 納付する相続税の軽減額または相続税の総額の軽減額で出力するか指定します。

<レポート作成速度の選択②>

- (1) 「高速」「中速(高)」「中速(中)」「中速(低)」「低速」「任意指定」から選択します。
- (2) 「高速」を選択してエラーが発生した場合には処理速度を中速→低速→「任意指定」に下げて作成してください。
- (3) 目安としてメモリ4GBの場合は中速(中)以下の速度を指定してください。※情報提供レポート(DPシステム)も同様です。

(レポート見本:一部抜粋)



- 出力されたレポートについては編集が可能です。
- (1) テキストボックスについては色彩を変更できます。強調したい部分など適宜修正してください。
 - (2) 文章を修正することができます。お客さまに合った表現に修正するなど適宜行ってください。
 - (3) スライドを追加して他の資料を挿入することもできます。
 - (4) 必要のないスライドは削除をすることができます。
 - (5) 本システムで作成された他の7種類のレポートと統合して活用することもできます。

留意点

- (1) 2次相続の算出については相続税の財産評価額を法定相続通りに相続したものと仮定しております。
- (2) 本システムで算出された相続税額はあくまで概算です。対策の検討にあたりましては専門の税理士・弁護士等とご相談されますようお願いいたします。
- (3) 本システムで作成された各種レポートにおいては、内容を貴社で精査・確認のうえ使用することになり、作成されたレポートに関する苦情・損害等につきましては貴社の責任において行うものとし、弊社は一切の責任を負わないものとします。

20. 配偶者の取得財産計算

一次・二次相続における相続税負担が一番軽減される配偶者の取得割合をシミュレーションすることができます。
「分析レポート」では「相続税が軽減される配偶者の取得財産額」が自動出力されます。

＜入力手順＞

1. 配偶者自身の保有財産額は「データ入力シート」の「財産・負債状況」の入力フォームまたは右上の「配偶者の保有財産」欄①に入力します。
2. 「データ入力シート」および「顧客ニーズ分析シート」の「配偶者の取得財産計算」をクリックします。

＜データ入力シート＞

項目	値
配偶者の保有財産	50 百万円
配偶者の取得財産	200 百万円
配偶者の取得割合	199 百万円
配偶者の取得割合	228 百万円

＜配偶者の取得財産計算＞

項目	値
配偶者の取得財産	200 百万円
配偶者の取得割合	199 百万円
配偶者の取得割合	228 百万円

配偶者の取得財産シミュレーション

【1】一次相続時に配偶者が取得する財産額 ※1

① 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 100,000,000 円 ※上限: 100,000,000 円

非課税金額: 52,800,000 円 ※上限: 52,800,000 円

② 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 10,000,000 円 ※上限: 10,000,000 円

③ 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 30,000,000 円 ※上限: 30,000,000 円

④ 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 25,000,000 円 ※上限: 25,000,000 円

⑤ 上記以外の財産額

任意入力

取得財産額: 1,234,126,700 円 ※上限: 1,234,126,700 円

【2】二次相続時の財産と非課税金額の内訳

① 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 1,000,000 円

② 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 2,000,000 円

③ 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 3,000,000 円

④ 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 0 円

⑤ 配偶者の取得財産割合

任意入力

取得財産額: 0 円

配偶者の取得財産シミュレーション

1. 配偶者の取得財産シミュレーション

2. 配偶者の取得財産シミュレーション

3. 配偶者の取得財産シミュレーション

項目	値
配偶者の取得財産	200 百万円
配偶者の取得割合	199 百万円
配偶者の取得割合	228 百万円

3. 一次相続における配偶者に適用する小規模宅地の特例の減額金額、生命保険の非課税金額、死亡退職金の非課税金額を指定します。また、二次相続において適用する小規模宅地の特例の減額金額、生命保険の非課税金額、死亡退職金の非課税金額を指定します。任意入力にチェックをしなかった場合は、法定相続割合で小規模宅地の減額金額、生命保険の非課税金額、死亡退職金の非課税金額を適用させます。
4. 法定相続分通りに分割した場合の相続税を算出しております。
5. 一次相続税と二次相続税の合計額が一番軽減される配偶者の取得割合と取得金額を計算し相続税を算出しております。
6. 一次相続税の税効果を表示しております。
7. 二次相続税の税効果を表示しております。
8. 一次・二次相続税合計の税効果を表示しております。

【留意点】

配偶者に適用する小規模宅地の特例の減額金額、生命保険の非課税金額、死亡退職金の非課税金額を指定せず、分析レポートを作成する場合、法定相続割合で適用するように自動計算され、レポートに出力されます。

21. 家系図作成

家系図のデータは登録名で登録されます。

レポートを作成する前に家系図を作成し「レポートへ反映」をクリックすると各種レポートに家系図が出力されます。

<入力ルール>

- (1) 既に亡くなっている方の場合、氏名欄に「故人」と入力してください。氏名は備考欄に適宜入力してください。
- (2) 配偶者と離婚している場合、配偶者の氏名欄に「離婚」と入力してください(家系図には離婚と表示されません)。

<作成手順>

- (1) 「データ入力シート」または「想定ニーズ一覧」の「家系図作成」をクリックします。
- (2) 推定相続人取得①をクリックすると相続人が自動的に反映されますので、子供の「配偶者」、「孫」、「備考欄」等の入力を行います。
- (3) 「F」をクリックすると入力フォーム(図1)が表示され「生年月日」を入力できます。続柄のプルダウンメニューで「〇〇:女」を選択すると家系図を女性表示します。
- (4) 「先妻」「先夫」の入力は「家系図切替」③をクリックして画面を切替えて入力してください。
- (5) 相続人が既に亡くなっているケースは氏名欄に「故人」、配偶者と離婚している場合は「離婚」と入力してください。
- (6) 家系図入力画面の「家系図作成」②をクリックすると家系図が自動作成できます。
- (7) 入力したデータを「登録」⑤をクリックすると「家系図DATAファイル」に登録(保存)することができます。

留意点

- (1) 「先妻」「先夫」入力画面の氏名欄が空白の状態では本人のみの家系図を作成する場合は「家系図切替」を行ってください。
- (2) 描画範囲は本人の親・兄弟姉妹・甥姪、配偶者の親・兄弟姉妹、甥姪の範囲です。

(図1)



- (1) 推定相続人取得①をクリックして、データ入力シートから相続人情報を反映します。
- (2) データを反映または入力した後、「家系図作成」②をクリックしてください。
- (3) 図形選択フォームが表示されますので、好きな図形を選択してください。選択した図形で家系図が作成されます。
- (4) レポートへ反映⑥をクリックすると、各種レポートに作成した家系図が出力されます。
- (5) コピー⑦をクリックすると家系図がコピーされますので他の資料に張り付けて活用することができます。
- (6) 先妻・先夫の家系図を作成する場合は「家系図切替」③をクリックすると入力シートが切り替わります。
- (7) データをDATAファイルに保存する場合は「登録」⑤をクリックしてください。
- (8) データを検索する場合は「検索」④をクリックしてください。
- (9) 家系図の出力形式、書式等を変更する場合は「設定」をクリックして自分好みの家系図になるよう設定を変更してください。

家系図入力画面の「設定」をクリックすると家系図を描画する各種設定ができます。

【変更項目】

- (1) 文字ポイント
- (2) オートシェイプの枠線ポイント
- (3) 野線ポイント
- (4) 文字書体
- (5) 女性のオートシェイプの色彩
- (6) 氏名の後に「様」を表示する 等

ここで登録した内容を次回以降も使用する場合は、家系図を閉じる時、保存を必ず行ってください。

22. 贈与税シミュレーションツール

贈与税シミュレーションでは、贈与税・相続税の負担割合を考慮し税額軽減が最大になる贈与額を算出します。また、保有金融資産や老後の生活資金等を考慮した適正贈与額を算出します。「初期画面」または顧客ニーズ分析の前提条件設定」の **贈与税シミュレーション** をクリックして起動します。

＜贈与税シミュレーション初期画面＞

登録情報

登録件数	1	登録	検索	新加入カード・ワラ	データ入力シートよりデータ取得	調整設定	受審者の各年の贈与条件適用設定	前送条件反映	贈年贈通正誤届出	贈与税シミュレーション終了
郵便名	親雲 太郎	登録状況	未登録							
属性ID	100000_1									

贈与税シミュレーション - 条件入力

入力の流れ：〔データ入力シートよりデータ取得〕＞〔相続人情報入力〕＞〔受贈者情報入力〕＞〔資産状況入力〕＞〔贈与条件入力〕＞〔贈与条件適用設定〕＞〔贈年贈通正誤届出〕＞〔シミュレーション結果表示〕

■ 相続人情報^(※)

氏名	続柄	生年月日	年齢	法定相続分 S人	遺産上の割合 ^(注) 自動計算	障害者控除 ^(注)
親雲 登子	配偶者	1951/09/30	72	1 / 2	1 / 2	
親雲 一郎	長男	1975/10/15	48	1 / 8	1 / 8	
親雲 次郎	次男	1978/03/01	45	1 / 8	1 / 8	
高橋 愛子	長女	1981/08/10	42	1 / 8	1 / 8	
田中 明子	次女	1985/06/20	38	1 / 8	1 / 8	
		/	/	/	/	
		/	/	/	/	
		/	/	/	/	
		/	/	/	/	
		/	/	/	/	
		/	/	/	/	
		/	/	/	/	

■ 受贈者情報 (債務と条件)^(※)

氏名	続柄	生年月日	年齢	贈与の種類 選択方法	贈与金額 (円)	贈与条件 (円)
親雲 一郎	長男	1975/10/15	47	贈年贈与(特例)	5,400,000	
親雲 次郎	次男	1978/03/01	44	贈年贈与(特例)	5,400,000	
高橋 愛子	長女	1981/08/10	41	贈年贈与(特例)	5,400,000	
田中 明子	次女	1985/06/20	37	贈年贈与(特例)	5,400,000	

■ 資産情報⁽¹⁹⁾

項目	金額 (円)
総資産	1,399,126,700
贈与対象外の資産	1,244,126,700
金融資産 ^(注)	247,662,500
その他 (非課税対象資産以外)	996,464,200
贈与対象外の負債	155,000,000
不動産 (小規模宅地の対価を除く)	100,000,000
生命保険金 (法保継承対象のみ)	30,000,000
死亡退職金 (法保継承対象のみ)	25,000,000
債務	▲90,000,000

■ 非課税金額情報 (任意)⁽²⁰⁾

項目	金額 (円)
小規模宅地等の減額	▲52,800,000
生命保険金の非課税金額 ^(注)	▲25,000,000
死亡退職金の非課税金額 ^(注)	▲25,000,000
合計	▲102,800,000

■ 贈与条件⁽²¹⁾

項目	内容
贈与期間 (年) ※1～30年	10 年
老後に必要な金融資産額 (円) ^(注)	30,000,000

■ 贈年贈通正誤^(※)

項目	1人当たりの贈与額 (円/年)	贈与の対象の範囲	金融資産のみ
贈年贈与(特例) 4人	7,100,000	5,400,000	
贈年贈与(一般) 0人の場合		贈与制限に抵触	贈与制限に抵触
贈年贈与選択者が全員	7,100,000	5,400,000	
贈年贈与(特例)の場合		贈与制限に抵触	贈与制限に抵触
贈年贈与選択者が全員	5,100,000	5,100,000	
贈年贈与(一般)の場合		贈与制限に抵触	贈与制限に抵触

※1： 贈与税特例適用要件が満たされていない場合には、これらが利用する「受贈者を含まず」
 ※2： 受贈者の贈与税負担を軽減し、贈与税を計上しないため。
 ※3： 歳末での贈与を開始するためとする。贈年贈与は7年連続贈与を想定して約まる。
 ※4： 受贈者は1月1日時点の年齢。
 ※5： 「贈年贈与(一般)」と「贈与を選択」。※「贈年贈与(特例)」が贈与税特例適用制度へ選択された18歳未満の贈与となる。
 ※6： 贈与・贈付等と重複せずとして現金化される資産(生命保険は除く)。贈年贈与と贈通正誤(金融資産のみ)の合計を目処の参考値とします。
 ※7： 適用できる上限額は法定相続人の人数×500万円となります。
 ※8： 「相続人情報」「受贈者情報」「贈年贈与選択者の贈与と贈通正誤(円)」「資産情報」「非課税金額情報」と併せて入力に基いて算出されます。(18歳未満のケースは考慮しありません)

1. 顧客データを登録する場合に「登録」をクリックしてください。
2. 登録済の顧客データを読み出す場合に「検索」をクリックしてください。
3. データ入力シートのデータを取得して、シミュレーションを行う場合にクリックします。
4. 贈与後の資産に対して配偶者の相続割合で算出するのか、または贈与金額を含めて配偶者の相続割合になるように調整してシミュレーションを行うのか指定することができます。
5. 受贈者ごとに贈与条件(贈与期間・贈与の種類、贈与金額)を指定することができます。
6. 分析レポートを出力する際の暦年贈与スキームを算出するための「贈与金額・受贈者人数・贈与期間」を前提条件シートに反映させることができます。
7. 相続税と贈与税を比較して、税負担が一番軽減される贈与額／年を算出することができます。
相続人情報、受贈者情報、資産情報、贈与条件の入力は必須です。未入力があると適正額が算出されません。
8. シミュレーション結果を表示します。レポート出力は、シミュレーション結果シートに「レポート出力」ボタンがあります。
9. 相続人を入力する欄です。法定相続割合を変更する場合は、民法上の割合欄の⑩「自動判定」をクリックして「手動入力」に切り替え、相続割合を直接入力してください。
10. 相続割合を任意に指定する場合に使用します。
11. 相続人に入力していない受贈者がいる場合にクリックすると、相続人欄に自動的に反映させることができます。
12. 入力された相続人に対して、すでに相続時精算課税制度による贈与を行っている場合に、贈与金額(持ち戻す金額)および⑬に支払った贈与税を入力してください。
13. 相続人情報欄に入力された相続人を受贈者欄に反映します。その場合、贈与をしない相続人は消去してください。
14. 受贈者欄の年齢は1月1日時点の年齢になります。相続人欄に生年月日が入力されている場合「相続人情報取得」をクリックすると自動的に1月1日現在の年齢が計算され表示されます。
15. 贈与の種類を選択します。
18歳未満で暦年贈与(特例)を選択した場合、18歳未満の時は一般贈与で、18歳に達した時点で特例贈与に自動的に切り替わります。
18歳未満で相続時精算課税制度を選択した場合、18歳未満の時は一般贈与で、18歳に達した時点で相続時精算課税制度に自動的に切り替わります。
暦年贈与(一般)を選択した場合は、年齢に関係なく贈与期間中は一般贈与としてシミュレーションを行います。
16. 贈与金額を入力します。
17. 18歳未満の受贈者に対して18歳に達するまでの贈与額を指定することができます。18歳未満で未入力の場合は入力された贈与金額でシミュレーションを行います。
18. 資産内容を入力します。
贈与対象資産欄のその他資産額には小規模宅地の特例を適用している土地、生命保険の非課税対象保険、死亡退職金は含めないでください。
小規模宅地の特例を適用している土地、生命保険の非課税対象保険、死亡退職金は贈与対象外資産欄に入力してください。
19. 小規模宅地の減額金額、生命保険の非課税金額、死亡退職金の非課税金額を入力します。
20. 贈与期間を入力します。老後に必要な金融資産に入力した場合、その金融資産を除いた金融資産で適正額を算出します。
21. ⑦の暦年贈与適正額算出をクリックすると適正額が表示されます。

■ 資產變動情報 (任意)

[illegible][illegible]

平晩者之しに晩上のみ類、晩上

上記に於て⑤の「受贈者の各年の贈与条件適用認定」を付し、受贈者

[illegible]

1 条件入力 2 レポート出力 3 データ出力 4 税効果（シミュレーション結果） 5 暦年贈与詳細 6 相続時精算課税制度詳細 7 相続税詳細 8 グラフ

贈与税シミュレーション - 結果 - 税効果

■ 税効果											
項目\年	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
相続税額の減少額	0	▲800,000	▲1,600,000	▲2,400,000	▲4,100,000	▲4,900,000	▲5,700,000	▲6,500,000	▲9,290,000	▲12,080,000	▲14,870,100
贈与を行った場合の相続税額	202,922,100	202,122,100	201,322,100	200,522,100	198,822,100	198,022,100	197,222,100	196,422,100	193,632,100	190,842,100	188,052,100
贈与を行わなかった場合の相続税額	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100	202,922,100
1年後以降で発生した贈与税(合計)	-	800,000	1,600,000	2,400,000	3,200,000	4,000,000	4,800,000	5,600,000	6,400,000	7,200,000	8,000,000
贈与による税効果	-	0	0	0	▲900,000	▲900,000	▲900,000	▲900,000	▲2,890,000	▲4,880,000	▲6,870,100

■ 赠与税

項目・年	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
標準価額合計	—	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000
標準税合計	—	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
標準税実効税率	—	6.45%	6.45%	6.45%	6.45%	6.45%	6.45%	6.45%	6.45%	6.45%	6.45%
標準価額累計	—	12,400,000	24,800,000	37,200,000	49,600,000	62,000,000	74,400,000	86,800,000	99,200,000	111,600,000	124,000,000
標準税累計	—	800,000	1,600,000	2,400,000	3,200,000	4,000,000	4,800,000	5,600,000	6,400,000	7,200,000	8,000,000

■ 相続税（贈与を行った場合の相続税額）

項目\年	現 在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
総資産	1,399,126,700	1,399,126,700	1,386,726,700	1,374,326,700	1,361,926,700	1,349,526,700	1,337,126,700	1,324,726,700	1,312,326,700	1,299,926,700	1,287,526,700
資産増減額	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増与総額	—	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000	▲12,400,000
変動後の総資産	1,399,126,700	1,386,726,700	1,374,326,700	1,361,926,700	1,349,526,700	1,337,126,700	1,324,726,700	1,312,326,700	1,299,926,700	1,287,526,700	1,275,126,700
取得財産の価額（非課税取得額）	1,296,326,700	1,283,926,700	1,271,526,700	1,259,126,700	1,246,726,700	1,234,326,700	1,221,926,700	1,209,526,700	1,197,126,700	1,184,726,700	1,172,326,700
相続時特精算課税制度の特典無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供償	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000	▲90,000,000
純資産価額	1,206,326,700	1,193,926,700	1,181,526,700	1,169,126,700	1,156,726,700	1,144,326,700	1,131,926,700	1,119,526,700	1,107,126,700	1,094,726,700	1,082,326,700

1. PowerPointにシミュレーション結果を出力します。
2. 各シートのデータ(条件入力、税効果、暦年贈与詳細、相続時精算課税制度詳細、相続税詳細シートを別ブックに出力することができます。
3. 暦年贈与の詳細を確認することができます。
4. 相続時精算課税制度の詳細を確認することができます。
5. 各年の相続税詳細を確認することができます。
6. シミュレーション結果をグラフで確認することができます。

凉下

- ・適正額は課税価額に基づいて算出しております。
- ・受贈者欄に入力された年齢により特例贈与と一般贈与を判定し適正額の算出、シミュレーションを行っております。
- ・土地の評価額算出において不整形地の評価等を行っていない場合、課税価額が高いため贈与金額が高めに算出する可能性があるため、不動産の評価額を調整(マイナス)して贈与税シミュレーションを行うようにしてください。

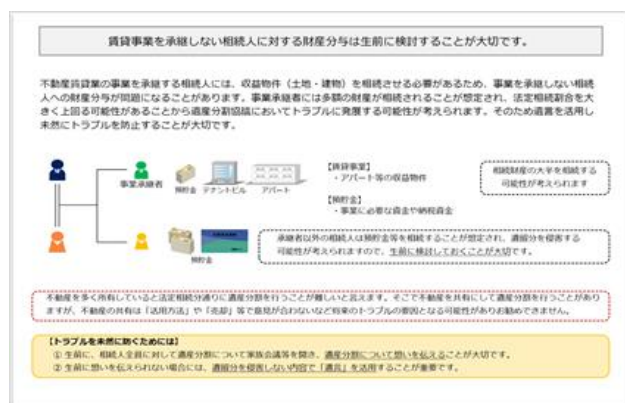
23. DPシステム(情報提供資料作成ツール)

DPシステムの内容は、「相続」「事業承継」「遺産分割・遺言・その他」の100を超える「着眼点」の中からお客さまのニーズに合致する情報提供を目的とした情報提供資料作成ツールです。項目の中から「選択」欄をクリックして簡単にレポートを出力することができます。
DPシステムで作成される資料は税務の一般的な情報提供資料であるため税理士資格のない方でもお客さまに手交できる資料です。

<手順>

- (1) 顧客ニーズ分析シートより立ち上げると、想定ニーズと合致している項目が黄色に反転表示されます。
- (2) 黄色に反転表示された項目を全指定する場合は「ニーズ一括選択」②をクリックしてください。
- (3) その他にニーズがありそうな項目の選択欄③をクリックし、黒色に反転させます。
- (4) レポート作成速度④を選択します(任意)。初めは高速で作成してください。万が一エラーになった場合は作成速度を「中速」または「低速」にしてください。
- (5) レポート作成①をクリックし情報提供資料を作成します。
- (6) 登録⑤をクリックするとチェックした項目が登録されます。
- (7) 検索⑥をクリックすると登録済のデータを検索することができます。

各項目の「表示」をクリックすると情報提供資料の内容を確認することができます。



(レポート見本:一部抜粋)



出力されたレポートは編集が可能です。

- (1) テキストボックスの色彩を変更できます。
- (2) 文章を修正することができます。お客さまに合った表現にするなど適宜行ってください。
- (3) スライドを追加して他の資料を挿入することもできます。
- (4) 必要のないスライドを削除することもできます。
- (5) 本システムで作成された他の7種類のレポートと統合して活用することもできます。

24. 遺産分割一覧表

入力された顧客データを基に遺産分割一覧表を自動的に作成します。各財産において各相続人が取得する財産額を入力することで各人の負担する相続税額および遺留分侵害の有無、納税原資の確保等を自動的に判断します。遺産分割案は何パターンでも作成し登録することができます。複数の分割案をDATAファイルに登録する場合は顧客Noを90→90_1→90_2(アンダーバーを使用)のように変更してください。(上書きができませんようにしています)

1

2

3

4

9

12

10

11

先前行へ

遺産分割ツール終了

6

7

8

5

12

10

11

先前行へ

遺産分割ツール終了

顧客名

若菜 太郎

顧客No

1

登録

検索

DATAファイルに登録 (保存) されておらず

登録済データ: 9件

【遺産分割一覧表】

■ 預貯金

No.	基準日	金融機関名	口座番号	科目	外貨種別	通貨	為替相場	相続税評価額	時価 (円)
1								100,000,000	
								100,000,000	0

■ 有価証券

No.	評価日	金融機関名	商品	銘柄	数量	単価	相続税評価額	時価 (円)
1							50,000,000	
							50,000,000	0

配偶者	長男	次男	長女	未分割金額
若菜 春子 様	若菜 一郎 様	若菜 次郎 様	若菜 夏子 様	
50,000,002	16,666,666	16,666,666	16,666,666	0
50,000,002	16,666,666	16,666,666	16,666,666	

① 合計 (資産 - 債務)	分割された金額合計	150,000,000
② 生命保険金の非課税額 (-)		0
③ 小規模宅地等の特例 (-)		0
④ 死亡退職金の非課税額 (-)		0
課税価額の合計	※ 千円未満切り捨て	149,997,000
上記の課税価額割合の調整 (小数点以下の割合修正)		-
基礎控除額		54,000,000
相続税の総額		13,299,100
相続税額の2割加算		0
配偶者の税額軽減 (-)		6,649,682
その他控除額① (-)		0
その他控除額② (-)		0
納付する相続税額	※ 100円未満切り捨て	6,649,218
手取り額		143,350,800

13

若菜 春子 様	若菜 一郎 様	若菜 次郎 様	若菜 夏子 様	未分割金額
75,000,003	24,999,999	24,999,999	24,999,999	-
50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	
75,000,003	24,999,999	24,999,999	24,999,999	-
75,000,000	24,999,000	24,999,000	24,999,000	-
50.0010000%	16.6663333%	16.6663333%	16.6663333%	0.0%

遺産分割金	25.00%	8.33%	8.33%	8.33%	-
特別受益 (過去に贈与等を行っている場合)					0
遺産分割金					-
遺産分不足額					-
現金、預貯金、有価証券、生命保険 (被保険者=本人)、死亡退職金での納税可否判定	可	可	可	可	-
納税資金不足	75,000,003	22,783,599	22,783,599	22,783,599	-

14

15

■ 二次相続税 16

配偶者が相続する財産額 (相続税評価額 - 一次相続税 - 配偶者居住権、小規模宅地・非課税額控除額)	75,000,003
配偶者自身が保有している財産額	0
二次相続財産額	75,000,003
① 生命保険金の非課税額 (-)	
② 小規模宅地等の特例 (-)	
③ 死亡退職金の非課税額 (-)	
課税価額の合計	※ 千円未満切り捨て
75,000,000	
上記の課税価額割合の調整 (小数点以下の割合修正)	
基礎控除額	48,000,000
相続税の総額	2,700,000
相続税額の2割加算	0
その他控除額① (-)	0
その他控除額② (-)	0
納付する相続税額	※ 100円未満切り捨て
2,700,000	
手取り額	72,300,003

配偶者	長男	次男	長女	未分割金額
若菜 春子 様	若菜 一郎 様	若菜 次郎 様	若菜 夏子 様	
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	25,000,001	25,000,001	25,000,001	0
-				0
-				0
-				0
-	25,000,000	25,000,000	25,000,000	-
-	33.3333333%	33.3333333%	33.3333333%	0.0000000%
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	900,000	900,000	900,000	-
-	0	0	0	-
-				-
-				-
-	900,000	900,000	900,000	-
-	24,100,001	24,100,001	24,100,001	-

※相続人に配偶者、子、代襲相続人、養子がいる場合は、二次相続における一覧表が下段に自動作成されます。

<機能>

- 「データ入力シート」のデータから遺産分割一覧表を自動作成します。
- 作成した分割案をPowerPointへ出力しレポートを自動作成します。
- レポートの出力速度を選択します(任意)。
- 分割案を基に「公正証書遺言の原案」をWordで自動作成します。
- 分割案を基に「遺産分割協議書」をWordで自動作成します。
- 法定相続分または相続割合を任意に指定して分割案を作成することができます。

28

7. 遺産分割一覧表を送付用のデータ出力または別なExcelブックとして出力します。
8. メール等で送付された遺産分割データを取込む場合に使用します。
9. 他の担当者の遺産分割DATAからデータを取得し編集することができます。
10. 分割終了後、クリックすると小規模宅地の特例、生命保険の非課税金額、死亡退職金の非課税金額を自動的に振り分けられます。
11. 相続税の計算を行います。
12. 編集、修正、農地の納税猶予指定、資産組み換えシミュレーションを行うことができます。
 - ・完成した分割案の複製を作成することができます。
 - ・相続人の属性変更
 - ・相続人の追加、削除
 - ・資産の追加、削除
 - ・農地の納税猶予の指定
13. 分割案に基づく各人の相続税納付額。
14. 遺留分の侵害がないかチェックします。
15. 今回の相続税が金融資産等で納税できるか納税原資の可否を判定します。
16. 配偶者がいる場合のみ二次相続についての分割案を作成することができます。

<手順>

- (1) 「遺産分割一覧表作成」①をクリックして一覧表を作成します。
- (2) 財産ごとに、それぞれが相続する財産の金額を入力し分割案を作成します。単独で相続する場合、当該セルをダブルクリックすると金額が自動的に入力されます。
- (3) 「小規模・非課税額計算および税額計算」⑩をクリックすると生命保険の非課税金額、死亡退職金の非課税金額、小規模宅地の特例の減額については分割した割合で自動計算され金額が挿入されます。
- (4) 遺留分の侵害、金融資産での納税資金の過不足を確認してください。
- (5) 分割案に問題が無ければ、「遺産分割レポート作成」②をクリックしてレポートを作成します。
- (6) 作成した分割案をDATAファイルに登録します。

(レポート見本:一部抜粋)



<出力される内容>

- (1) 相続人
- (2) 資産明細(資産ごとに1ページに出力)
- (3) 分割案
(相続人の取得財産を一覧表に出力)
- (4) 個人別取得明細

<レポート作成速度の指定③>

- (1) 「高速」「中速」「低速」「任意指定」から選択します。
- (2) 「高速」を選択してエラーが発生した場合には処理速度を下げて作成してください。
- (3) 目安としてメモリ4GBの場合は「中速」以下の速度を指定してください。

25. 公正証書遺言自動作成ツール

遺産分割一覧表に分割案を入力完了後、分割案を基に公正証書遺言の原案をWordに自動作成します。

<作成手順>

- (1) 遺産分割一覧表の分割案を入力完了後、遺産分割一覧表上段の「公正証書遺言原案作成」をクリックします。
- (2) 公正証書遺言作成ツールには、顧客名(相続人含む)、続柄、生年月日、本人の住所が自動的に反映されます。
- (3) 当該顧客の文案がDATAファイルに登録済である場合、DATAファイルから自動的に文案が反映されます。
- (4) 遺言者の情報、残余財産を相続する人、予備的遺言、代償分割、祭祀主宰者、遺言執行者、保証人、付言等を入力します。
⑥の「文案雛形呼出」をクリックすると初期設定の文案、またはご自身で登録している文案を呼び出すことができます。
ご自身の文案を登録する場合は、⑦の「文案雛形登録」をクリックして登録してください。
- (5) ⑤の遺言出力指定欄で出力する項目を指定します。
- (6) 文案の入力終了後、③の「登録」をクリックしDATAファイルに作成した文案を登録してください。
- (7) 文案を作成後、①の「原案作成」をクリックするとWordへ公正証書原案が出力されます。
出力形式は4パターンから選択してください。また、自筆証書遺言形式での出力も可能です。
- (8) 遺産分割一覧に無い情報には「●-----●」が出力されますので、この部分を修正します。
- (9) Wordに出力される文字ポイントを変更したい場合は、②の「設定」をクリックし文字ポイントを変更することができます。
- (10) 登録済の文案を呼び出す場合は、④の「検索」で呼び出すことができます。

<文案の登録>

公正証書遺言に出力される文言は事前に登録している文案を使用することで簡単に公正証書遺言の原案を作成することができます。事前に登録されている文案以外に、ご自身で文案を登録したい場合は、⑦の「文案雛形登録」をクリックして登録します。登録されている文案を呼び出す場合は、⑥の「文案雛形呼出」をクリックして呼び出すことができます。

(公正証書作成ツール)

公正証書遺言作成ツール

1 原案作成 2 設定 操作、入力方法 公正証書遺言作成ツール終了 Ver.28_3

顧客名	若葉 太郎
顧客ID	100000_1

続柄	氏名	生年月日	住所
遺言者:	本人 若葉 太郎	昭和24年4月11日	東京都千代田区1丁目1番1号
相続人①:	配偶者 若葉 香子	昭和26年9月30日	
相続人②:	長男 若葉 一郎	昭和50年10月15日	
相続人③:	次男 若葉 次郎	昭和53年3月1日	
相続人④:	長女 若葉 夏子	昭和56年8月10日	
相続人⑤:	次女 田中 明子	昭和60年6月20日	

3 登録・検索 4 登録 5 検索

DATAファイルに登録(保存)済です 登録件数: 6件 入力文案クリア

遺言出力指定 5

☐ 死亡退職金の出力 ☒ 生命保険の出力(受取人変更) ☒ 債務の出力 ☐ 未登記建物の見本出力 ☐ 区分所有建物の見本出力

遺言者: 若葉 太郎

職業: 無職 (必須) 例: 無職、会社員等

(入力必須) 本公証人は、遺言者・協議書データの確認により、証人 ● ● ● ●、証人 ● ● ● ●の立会いをもって下記のとおり遺言の口述の趣旨を筆記し、この証書を作成する。

遺言者 遺言・協議書データは、この証書により次のとおり遺言する。

6 文案雛形呼出 7 文案雛形登録

(公正証書遺言出力形式選択)

出力形式選択

Aパターン 取得割合に応じて、すべての財産を順番に出力
現金→預貯金→有価証券→自営事業等その他資産
→不動産(土地)→不動産(建物)

Bパターン 取得割合に応じて、不動産を除く財産を順番に出力
現金→預貯金→有価証券→自営事業等その他資産
不動産は別紙明細に出力

Cパターン 金融資産(現金・預貯金・有価証券)を合算し、金融資産の取得割合で出力。
特定の相続人に一部金額指定を行っている場合はこちらで出力。不動産のみ別紙明細に出力。

Dパターン 金融資産(現金・預貯金・有価証券)を合算し、金融資産の取得割合で出力。
特定の相続人に一部金額指定を行っている場合はこちらで出力。すべての資産を別紙明細に出力。

自筆証書遺言 自筆証書遺言の形式で出力。
財産目録を別紙明細として出力します。
財産目録以外は出力見本を参考にして自筆で記入。
財産目録の各ページに遺言者の署名・捺印してください。

(Aパターンの出力見本)

令和●●年度●●号 遺言公正証書(遺言)

本公証人は、遺言者・遺言・協議書データの確認により、証人 若葉 太郎、証人 田中 明子(以下、「証人」と記載する。相続人以外に登記されている)の立会いをもって下記のとおり遺言の口述の趣旨を筆記し、この証書を作成する。

遺言者 若葉 太郎は、この証書により次のとおり遺言する。

第1条 遺言者 若葉 太郎は、相続開始時に存する財産を、次の要約の相続人又は相続人等、相続人以外に登記されている(以下、「相続人以外に登記されている」の文言が有る場合は、相続人(遺言者)の同意を得て)に、次のとおり遺言する。

遺言者の存する財産目録を別紙明細に記述する。証人 若葉 太郎(昭和24年4月11日生)と2分の1、長男 若葉 一郎(昭和50年10月15日生)と2分の1、次男 若葉 次郎(昭和53年3月1日生)と2分の1、長女 若葉 夏子(昭和56年8月10日生)と2分の1、次女 田中 明子(昭和60年6月20日生)と2分の1を相続する。

(現金の遺言)

(1) 現金 金 100,000円

(2) 現金 金 100,000円

(3) 現金 金 100,000円

(4) 現金 金 100,000円

(5) 現金 金 100,000円

(6) 現金 金 100,000円

(7) 現金 金 100,000円

(8) 現金 金 100,000円

(9) 現金 金 100,000円

(10) 現金 金 100,000円

(11) 現金 金 100,000円

(12) 現金 金 100,000円

(13) 現金 金 100,000円

(14) 現金 金 100,000円

(15) 現金 金 100,000円

(16) 現金 金 100,000円

(17) 現金 金 100,000円

(18) 現金 金 100,000円

(19) 現金 金 100,000円

(20) 現金 金 100,000円

(21) 現金 金 100,000円

(22) 現金 金 100,000円

(23) 現金 金 100,000円

(24) 現金 金 100,000円

(25) 現金 金 100,000円

(26) 現金 金 100,000円

(27) 現金 金 100,000円

(28) 現金 金 100,000円

(29) 現金 金 100,000円

(30) 現金 金 100,000円

(31) 現金 金 100,000円

(32) 現金 金 100,000円

(33) 現金 金 100,000円

(34) 現金 金 100,000円

(35) 現金 金 100,000円

(36) 現金 金 100,000円

(37) 現金 金 100,000円

(38) 現金 金 100,000円

(39) 現金 金 100,000円

(40) 現金 金 100,000円

(41) 現金 金 100,000円

(42) 現金 金 100,000円

(43) 現金 金 100,000円

(44) 現金 金 100,000円

(45) 現金 金 100,000円

(46) 現金 金 100,000円

(47) 現金 金 100,000円

(48) 現金 金 100,000円

(49) 現金 金 100,000円

(50) 現金 金 100,000円

(51) 現金 金 100,000円

(52) 現金 金 100,000円

(53) 現金 金 100,000円

(54) 現金 金 100,000円

(55) 現金 金 100,000円

(56) 現金 金 100,000円

(57) 現金 金 100,000円

(58) 現金 金 100,000円

(59) 現金 金 100,000円

(60) 現金 金 100,000円

(61) 現金 金 100,000円

(62) 現金 金 100,000円

(63) 現金 金 100,000円

(64) 現金 金 100,000円

(65) 現金 金 100,000円

(66) 現金 金 100,000円

(67) 現金 金 100,000円

(68) 現金 金 100,000円

(69) 現金 金 100,000円

(70) 現金 金 100,000円

(71) 現金 金 100,000円

(72) 現金 金 100,000円

(73) 現金 金 100,000円

(74) 現金 金 100,000円

(75) 現金 金 100,000円

(76) 現金 金 100,000円

(77) 現金 金 100,000円

(78) 現金 金 100,000円

(79) 現金 金 100,000円

(80) 現金 金 100,000円

(81) 現金 金 100,000円

(82) 現金 金 100,000円

(83) 現金 金 100,000円

(84) 現金 金 100,000円

(85) 現金 金 100,000円

(86) 現金 金 100,000円

(87) 現金 金 100,000円

(88) 現金 金 100,000円

(89) 現金 金 100,000円

(90) 現金 金 100,000円

(91) 現金 金 100,000円

(92) 現金 金 100,000円

(93) 現金 金 100,000円

(94) 現金 金 100,000円

(95) 現金 金 100,000円

(96) 現金 金 100,000円

(97) 現金 金 100,000円

(98) 現金 金 100,000円

(99) 現金 金 100,000円

(100) 現金 金 100,000円

(101) 現金 金 100,000円

(102) 現金 金 100,000円

(103) 現金 金 100,000円

(104) 現金 金 100,000円

(105) 現金 金 100,000円

(106) 現金 金 100,000円

(107) 現金 金 100,000円

(108) 現金 金 100,000円

(109) 現金 金 100,000円

(110) 現金 金 100,000円

(111) 現金 金 100,000円

(112) 現金 金 100,000円

(113) 現金 金 100,000円

(114) 現金 金 100,000円

(115) 現金 金 100,000円

(116) 現金 金 100,000円

(117) 現金 金 100,000円

(118) 現金 金 100,000円

(119) 現金 金 100,000円

(120) 現金 金 100,000円

(121) 現金 金 100,000円

(122) 現金 金 100,000円

(123) 現金 金 100,000円

(124) 現金 金 100,000円

(125) 現金 金 100,000円

(126) 現金 金 100,000円

(127) 現金 金 100,000円

(128) 現金 金 100,000円

(129) 現金 金 100,000円

(130) 現金 金 100,000円

(131) 現金 金 100,000円

(132) 現金 金 100,000円

(133) 現金 金 100,000円

(134) 現金 金 100,000円

(135) 現金 金 100,000円

(136) 現金 金 100,000円

(137) 現金 金 100,000円

(138) 現金 金 100,000円

(139) 現金 金 100,000円

(140) 現金 金 100,000円

(141) 現金 金 100,000円

(142) 現金 金 100,000円

(143) 現金 金 100,000円

(144) 現金 金 100,000円

(145) 現金 金 100,000円

(146) 現金 金 100,000円

(147) 現金 金 100,000円

(148) 現金 金 100,000円

(149) 現金 金 100,000円

(150) 現金 金 100,000円

(151) 現金 金 100,000円

(152) 現金 金 100,000円

(153) 現金 金 100,000円

(154) 現金 金 100,000円

(155) 現金 金 100,000円

(156) 現金 金 100,000円

(157) 現金 金 100,000円

(158) 現金 金 100,000円

(159) 現金 金 100,000円

(160) 現金 金 100,000円

(161) 現金 金 100,000円

(162) 現金 金 100,000円

(163) 現金 金 100,000円

(164) 現金 金 100,000円

(165) 現金 金 100,000円

(166) 現金 金 100,000円

(167) 現金 金 100,000円

(168) 現金 金 100,000円

(169) 現金 金 100,000円

(170) 現金 金 100,000円

(171) 現金 金 100,000円

(172) 現金 金 100,000円

(173) 現金 金 100,000円

(174) 現金 金 100,000円

(175) 現金 金 100,000円

(176) 現金 金 100,000円

(177) 現金 金 100,000円

(178) 現金 金 100,000円

(179) 現金 金 100,000円

(180) 現金 金 100,000円

(181) 現金 金 100,000円

(182) 現金 金 100,000円

(183) 現金 金 100,000円

(184) 現金 金 100,000円

(185) 現金 金 100,000円

(186) 現金 金 100,000円

(187) 現金 金 100,000円

(188) 現金 金 100,000円

(189) 現金 金 100,000円

(190) 現金 金 100,000円

(191) 現金 金 100,000円

(192) 現金 金 100,000円

(193) 現金 金 100,000円

(194) 現金 金 100,000円

(195) 現金 金 100,000円

(196) 現金 金 100,000円

(197) 現金 金 100,000円

(198) 現金 金 100,000円

(199) 現金 金 100,000円

(200) 現金 金 100,000円

(201) 現金 金 100,000円

(202) 現金 金 100,000円

(203) 現金 金 100,000円

(204) 現金 金 100,000円

(205) 現金 金 100,000円

(206) 現金 金 100,000円

(207) 現金 金 100,000円

(208) 現金 金 100,000円

(209) 現金 金 100,000円

(210) 現金 金 100,000円

(211) 現金 金 100,000円

(212) 現金 金 100,000円

(213) 現金 金 100,000円

(214) 現金 金 100,000円

(215) 現金 金 100,000円

(216) 現金 金 100,000円

(217) 現金 金 100,000円

(218) 現金 金 100,000円

(219) 現金 金 100,000円

(220) 現金 金 100,000円

(221) 現金 金 100,000円

(222) 現金 金 100,000円

(223) 現金 金 100,000円

(224) 現金 金 100,000円

(225) 現金 金 100,000円

(226) 現金 金 100,000円

(227) 現金 金 100,000円

(228) 現金 金 100,000円

(229) 現金 金 100,000円

(230) 現金 金 100,000円

(231) 現金 金 100,000円

(232) 現金 金 100,000円

(233) 現金 金 100,000円

(234) 現金 金 100,000円

(235) 現金 金 100,000円

(236) 現金 金 100,000円

(237) 現金 金 100,000円

(238) 現金 金 100,000円

(239) 現金 金 100,000円

(240) 現金 金 100,000円

(241) 現金 金 100,000円

(242) 現金 金 100,000円

(243) 現金 金 100,000円

(244) 現金 金 100,000円

(245) 現金 金 100,000円

(246) 現金 金 100,000円

(247) 現金 金 100,000円

(248) 現金 金 100,000円

(249) 現金 金 100,000円

(250) 現金 金 100,000円

(251) 現金 金 100,000円

(252) 現金 金 100,000円

(253) 現金 金 100,000円

(254) 現金 金 100,000円

(255) 現金 金 100,000円

(256) 現金 金 100,000円

(257) 現金 金 100,000円

(258) 現金 金 100,000円

(259) 現金 金 100,000円

(260) 現金 金 100,000円

(261) 現金 金 100,000円

(262) 現金 金 100,000円

(263) 現金 金 100,000円

(264) 現金 金 100,000円

(265) 現金 金 100,000円

(266) 現金 金 100,000円

(267) 現金 金 100,000円

(268) 現金 金 100,000円

(269) 現金 金 100,000円

(270) 現金 金 100,000円

(271) 現金 金 100,000円

(272) 現金 金 100,000円

(273) 現金 金 100,000円

(274) 現金 金 100,000円

(275) 現金 金 100,000円

(276) 現金 金 100,000円

(277) 現金 金 100,000円

(278) 現金 金 100,000円

(279) 現金 金 100,000円

(280) 現金 金 100,000円

(281) 現金 金 100,000円

(282) 現金 金 100,000円

(283) 現金 金 100,000円

(284) 現金 金 100,000円

(285) 現金 金 100,000円

(286) 現金 金 100,000円

(287) 現金 金 100,000円

(288) 現金 金 100,000円

(289) 現金 金 100,000円

(290) 現金 金 100,000円

(291) 現金 金 100,000円

(292) 現金 金 100,000円

(293) 現金 金 100,000円

(294) 現金 金 100,000円

(295) 現金 金 100,000円

(296) 現金 金 100,000円

(297) 現金 金 100,000円

(298) 現金 金 100,000円

(299) 現金 金 100,000円

(300) 現金 金 100,000円

(301) 現金 金 100,000円

(302) 現金 金 100,000円

(303) 現金 金 100,000円

(304) 現金 金 100,000円

(305) 現金 金 100,000円

(306) 現金 金 100,000円

(307) 現金 金 100,000円

(308) 現金 金 100,000円

(309) 現金 金 100,000円

(310) 現金 金 100,000円

(311) 現金 金 100,000円

(312) 現金 金 100,000円

(313) 現金 金 100,000円

(314) 現金 金 100,000円

(315) 現金 金 100,000円

(316) 現金 金 100,000円

(317) 現金 金 100,000円

(318) 現金 金 100,000円

(319) 現金 金 100,000円

(320) 現金 金 100,000円

(321) 現金 金 100,000円

(322) 現金 金 100,000円

(323) 現金 金 100,000円

(324) 現金 金 100,000円

(325) 現金 金 100,000円

(326) 現金 金 100,000円

(327) 現金 金 100,000円

(328) 現金 金 100,000円

(329) 現金 金 100,000円

(330) 現金 金 100,000円

(331) 現金 金 100,000円

(332) 現金 金 100,000円

(333) 現金 金 100,000円

(334) 現金 金 100,000円

(335) 現金 金 100,000円

(336) 現金 金 100,000円

(337) 現金 金 100,000円

(338) 現金 金 100,000円

(339) 現金 金 100,000円

(340) 現金 金 100,000円

(341) 現金 金 100,000円

(342) 現金 金 100,000円

(343) 現金 金 100,000円

(344) 現金 金 100,000円

(345) 現金 金 100,000円

(346) 現金 金 100,000円

(347) 現金 金 100,000円

(348) 現金 金 100,000円

(349) 現金 金 100,000円

(350) 現金 金 100,000円

(351) 現金 金 100,000円

(352) 現金 金 100,000円

(353) 現金 金 100,000円

(354) 現金 金 100,000円

(355) 現金 金 100,000円

(356) 現金 金 100,000円

(357) 現金 金 100,000円

(358) 現金 金 100,000円

(359) 現金 金 100,000円

(360) 現金 金 100,000円

(361) 現金 金 100,000円

(362) 現金 金 100,000円

(363) 現金 金 100,000円

(364) 現金 金 100,000円

(365) 現金 金 100,000円

(366) 現金 金 100,000円

(367) 現金 金 100,000円

(368) 現金 金 100,000円

(369) 現金 金 100,000円

(370) 現金 金 100,000円

(371) 現金 金 100,000円

(372) 現金 金 100,000円

(373) 現金 金 100,000円

(374) 現金 金 100,000円

(375) 現金 金 100,000円

(376) 現金 金 100,000円

(377) 現金 金 100,000円

(378) 現金 金 100,000円

(379) 現金 金 100,000円

(380) 現金 金 100,000円

(381) 現金 金 100,000円

(382) 現金 金 100,000円

(383) 現金 金 100,000円

(384) 現金 金 100,000円

(385) 現金 金 100,000円

(386) 現金 金 100,000円

(387) 現金 金 100,000円

(388) 現金 金 100,000円

(389) 現金 金 100,000円

(390) 現金 金 100,000円

(391) 現金 金 100,000円

(392) 現金 金 100,000円

(393) 現金 金 100,000円

(394) 現金 金 100,000円

(395) 現金 金 100,000円

(396) 現金 金 100,000円

(397) 現金 金 100,000円

(398) 現金 金 100,000円

(399) 現金 金 100,000円

(400) 現金 金 100,000円

(401) 現金 金 100,000円

(402) 現金 金 100,000円

(403) 現金 金 100,000円

(404) 現金 金 100,000円

(405) 現金 金 100,000円

(406) 現金 金 100,000円

(407) 現金 金 100,000円

(408) 現金 金 100,000円

(409) 現金 金 100,000円

(410) 現金 金 100,000円

(411) 現金 金 100,000円

(412) 現金 金 100,000円

(413) 現金 金 100,000円

(414) 現金 金 100,000円

(415) 現金 金 100,000円

(416) 現金 金 100,000円

(417) 現金 金 100,000円

(418) 現金 金 100,000円

(419) 現金 金 100,000円

(420) 現金 金 100,000円

(421) 現金 金 100,000円

(422) 現金 金 100,000円

(423) 現金 金 100,000円

(424) 現金 金 100,000円

(425) 現金 金 100,000円

(426) 現金 金 100,000円

(427) 現金 金 100,000円

(428) 現金 金 100,000円

(429) 現金 金 100,000円

(430) 現金 金 100,000円

(431) 現金 金 100,000円

(432) 現金 金 100,000円

(433) 現金 金 100,000円

(434) 現金 金 100,000円

(435) 現金 金 100,000円

(436) 現金 金 100,000円

(437) 現金 金 100,000円

(438) 現金 金 100,000円

(439) 現金 金 100,000円

(440) 現金 金 100,000円

(441) 現金 金 100,000円

(442) 現金 金 100,000円

(443) 現金 金 100,000円

(444) 現金 金 100,000円

(445) 現金 金 100,000円

(446) 現金 金 100,000円

(447) 現金 金 100,000円

(448) 現金 金 100,000円

(449) 現金 金 100,000円

(450) 現金 金 100,000円

(451) 現金 金 100,000円

(452) 現金 金 100,000円

(453) 現金 金 100,000円

(454) 現金 金 100,000円

(455) 現金 金 100,000円

(456) 現金 金 100,000円

(457) 現金 金 100,000円

(458) 現金 金 100,000円

(459) 現金 金 100,000円

(460) 現金 金 100,000円

(461) 現金 金 100,000円

(462) 現金 金 100,000円

(463) 現金 金 100,000円

(464) 現金 金 100,000円

(465) 現金 金 100,000円

26. 遺産分割協議書自動作成ツール

遺産分割一覧表に分割案を入力完了後、分割案を基に遺産分割協議書の原案をWordに自動作成します。

<作成手順>

- (1) 遺産分割一覧表の分割案を入力完了後、遺産分割一覧表上段の「遺産分割協議書作成」をクリックします。
- (2) 遺産分割協議書作成ツールには顧客名(相続人含む)、続柄、生年月日、本人の住所が自動的に反映されます。
- (3) 当該顧客の文案がDATAファイルに登録済である場合、DATAファイルから自動的に文案が反映されます。
- (4) 被相続人の情報、残余財産を相続する人、予備的遺言、代償分割、祭祀主宰者等を入力します。
 - ⑥の「文案呼出」をクリックすると初期設定の文案、またはご自身で登録している文案を呼び出すことができます。
 - ご自身の文案を登録する場合は、⑦の「文案登録」をクリックして登録してください。
- (5) ⑤の協議書出力指定欄で出力する項目を指定します。
- (6) 文案の入力終了後、③の「登録」をクリックしDATAファイルに作成した文案を登録してください。
- (7) 文案を作成後、①の「協議書作成」をクリックするとWordへ遺産分割協議書が出力されます。
 - 出力形式は4パターンから選択してください。
- (8) 遺産分割一覧に無い情報には「●-----●」が出力されますのでこの部分を修正します。
- (9) Wordに出力される文字ポイントを変更したい場合は、②の「設定」をクリックし文字ポイントを変更することができます。
- (10) 登録済の文案を呼び出す場合は、④の「検索」で呼び出すことができます。

<文案の登録>

遺産分割協議書に出力される文言は事前に登録している文案を使用することで簡単に遺産分割協議書を作成することができます。事前に登録されている文案以外に、ご自身で文案を登録したい場合は、⑦の「文案登録」をクリックして登録します。登録されている文案を呼び出す場合は、⑥の「文案呼出」をクリックして呼び出すことができます。

<遺産分割協議書ツール>

遺産分割協議書作成ツール

1 協議書作成 2 設定 入力文案クリア 操作、入力方法 遺産分割協議書作成ツール終了 Ver.28_3

顧客名 若葉 太郎 顧客ID 100000_1 <出力時間の目安> 資産件数100件あたり約1分です

続柄	氏名	生年月日	住所	
遺言者:	本人	若葉 太郎	昭和24年4月11日	東京都千代田区1丁目1番1号
相続人①:	配偶者	若葉 香子	昭和26年9月30日	
相続人②:	長男	若葉 一郎	昭和50年10月15日	
相続人③:	次男	若葉 次郎	昭和53年3月1日	
相続人④:	長女	若葉 夏子	昭和56年8月10日	
相続人⑤:	次女	田中 明子	昭和60年6月20日	

3 登録・検索 4 登録 検索 DATAファイルに登録(保存)された文案を読み込み 登録件数: 5件

5 協議書出力指定

☐ 死亡・遺言等の出力 ☐ 債務の出力 ☐ 未登記建物の見本出力 ☐ 区分所有建物および敷地等の見本出力

被相続人: 若葉 太郎 死亡日: 令和6年1月1日 本籍地: 千葉県市川市1丁目5番3号 文案: 被相続人 遺言・協議書テスト (以下「被相続人」という。)の遺産相続につき、共同相続人全員で遺産分割協議を行い、被相続人の遺産を次のとおり分割することで協議が成立した。

6 文案呼出 7 文案登録

<遺産分割協議書出力形式選択>

出力形式選択

Aパターン 取得割合に応じて、すべての財産を順番に出力
現金→預貯金→有価証券→自社株式等その他資産
→不動産(土地)→不動産(建物)

Bパターン 取得割合に応じて、不動産を除く財産を順番に出力
現金→預貯金→有価証券→自社株式等その他資産
不動産は別紙明細に出力

Cパターン 金融資産(現金・預貯金・有価証券)を合算し、金融資産の取得割合で出力。
特定の相続人に一部金額指定を行っている場合はこちらで出力。不動産は別紙明細に出力。

Dパターン 金融資産(現金・預貯金・有価証券)を合算し、金融資産の取得割合で出力。
特定の相続人に一部金額指定を行っている場合はこちらで出力。すべての資産を別紙明細に出力。

<Aパターンの出力見本>

遺産分割協議書

被相続人 遺言・協議書テスト (以下「被相続人」という。)の遺産相続につき、共同相続人全員で遺産分割協議を行い、被相続人の遺産を次のとおり分割することで協議が成立した。

被相続人 若葉 太郎
死亡日 令和6年1月1日
本籍地 千葉県市川市1丁目5番3号
被相続人の住所 東京都千代田区1丁目1番1号

1. 被相続人が有する次の財産を遺産 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
1. 現金(一部「昭和50年10月15日没」の香子から) 2. 現金(一部「昭和53年3月1日没」の香子から) 3. 現金(一部「昭和56年8月10日没」の香子から) 4. 現金(一部「昭和60年6月20日没」の香子から) 1. 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
2. 現金(一部「昭和50年10月15日没」の香子から) 2. 現金(一部「昭和53年3月1日没」の香子から) 3. 現金(一部「昭和56年8月10日没」の香子から) 4. 現金(一部「昭和60年6月20日没」の香子から) 1. 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
2. 現金(一部「昭和50年10月15日没」の香子から) 2. 現金(一部「昭和53年3月1日没」の香子から) 3. 現金(一部「昭和56年8月10日没」の香子から) 4. 現金(一部「昭和60年6月20日没」の香子から)

(現金の表示)
(1) 現金 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
(2) 現金 香子 (昭和50年10月15日没) 2/20分
(3) 現金 香子 (昭和53年3月1日没) 2/20分
(4) 現金 香子 (昭和56年8月10日没) 2/20分
(5) 現金 香子 (昭和60年6月20日没) 2/20分

(預貯金の表示)
(1) 現金 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
(2) 現金 香子 (昭和50年10月15日没) 2/20分
(3) 現金 香子 (昭和53年3月1日没) 2/20分
(4) 現金 香子 (昭和56年8月10日没) 2/20分
(5) 現金 香子 (昭和60年6月20日没) 2/20分

(有価証券の表示)
(1) 現金 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
(2) 現金 香子 (昭和50年10月15日没) 2/20分
(3) 現金 香子 (昭和53年3月1日没) 2/20分
(4) 現金 香子 (昭和56年8月10日没) 2/20分
(5) 現金 香子 (昭和60年6月20日没) 2/20分

(自社株式の表示)
(1) 現金 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
(2) 現金 香子 (昭和50年10月15日没) 2/20分
(3) 現金 香子 (昭和53年3月1日没) 2/20分
(4) 現金 香子 (昭和56年8月10日没) 2/20分
(5) 現金 香子 (昭和60年6月20日没) 2/20分

(個人年金の表示)
(1) 現金 香子 (昭和24年9月30日没) 2/20分
(2) 現金 香子 (昭和50年10月15日没) 2/20分
(3) 現金 香子 (昭和53年3月1日没) 2/20分
(4) 現金 香子 (昭和56年8月10日没) 2/20分
(5) 現金 香子 (昭和60年6月20日没) 2/20分

留意点

- (1) 家屋につきましては登記情報(種類、構造)を確認し修正・追記をしてください。
- (2) 分割した金額により最大公約数を算出し分割割合を分数表記しておりますが、端数処理の関係で分数表記が大きくなる場合があります。その場合には適宜Word上で修正してください。

27.不動産レポート

データ入力シートの所有不動産情報から「不動産レポート」を作成することができます。お客さまが所有する不動産台帳として活用することができます。

<台帳の作成手順>

- (1) データ入力シートの所有不動産にある「不動産レポート」をクリックします。
- (2) 利用単位ごとに台帳が作成されます。
- (3) 各物件の住宅地図や航空写真、路線価図等を貼り付けます(手動)。

(不動産レポート見本:一部抜粋)



物件の住宅地図・航空写真の貼り付けはGoogle マップ等を活用すると便利です。

Google マップの使用については、Google 社の利用規約に準じて使用する必要がありますので、Google 社の利用規約をご確認ください。

<地図のコピー&ペイスト作業手順>

- (1) 「データ入力シート」の所有不動産欄の「MAP・路線価図」をクリックすると、地図を一発表示するボタンを作成します。
- (2) 地図を表示させたい住所の「地図表示」①をクリックするとGoogle マップが表示されます。
- (3) Google マップで表示された住宅地図をSnipping Toolを活用してコピーし「不動産レポート」の該当ページに貼り付けます。

「Snipping Tool」はWindows10以降に標準装備されているツールです。

※ 地番で入力されている場合は地図表示できません。

(図1)

物件番号	用途	住所(地番の場合は正しく表示されないことがあります)	1 地図	路線価URL	2 路線価図
1	自宅	東京都〇〇区〇〇町1-2-1	地図表示	http://www.rosenka.nta.go.jp/main_r05/tokyo/tokyo/prices/html/17008f.htm	路線価図
2	建物: 自用	東京都〇〇区〇〇町1-2-1	地図表示		路線価図
3	駐車場	東京都〇〇区〇〇町1-2-4	地図表示	http://www.rosenka.nta.go.jp/main_r05/tokyo/tokyo/prices/html/18014f.htm	路線価図
4	賃貸用	東京都中央区日本橋大伝馬町13-7	地図表示	http://www.rosenka.nta.go.jp/main_r05/tokyo/tokyo/prices/html/17005f.htm	路線価図
5	建物: 賃貸	東京都〇〇区〇〇町1-2-4	地図表示		路線価図

路線価年号変更

平成30年から令和5年に変更する場合は、変更前に「r05」、変更後の「r05」と入力
令和5年から令和6年に変更する場合は、変更前に「r05」、変更後の「r06」と入力

変更前の年号: r05
変更後の年号: r06

変更 キャンセル

<路線価図の表示>

不動産フォームで路線価のURLを入力している場合に路線価URLも表示されます。

- (1) ②の「路線価図」をクリックすると当該年の路線価図が表示されます。

- (2) 見たい年の路線価に一括で切替えることができます。

下記は令和5年の路線価図のURL(赤字のr05)になりますが、令和6年のURLに切り替えるには③の「路線価の表示年を変更する」をクリックし、④のフォームに変更前:r05、変更後:r06と入力すると一括で切り替えることができます。

http://www.rosenka.nta.go.jp/main_r05/tokyo/tokyo/prices/html/17008f.htm

留意点

- (1) 地図を自動的に表示させるには「所有不動産」欄の土地の所在地(上段)に住所を入力する必要があります。
- (2) 検索した路線価図のURLは「不動産入力フォーム」の路線価URL欄に入力してください。
- (3) 地図表示にはインターネット接続環境が必要です。

(参考)

すばやく画面を切り取るには、Windows ロゴ キー + Shift + S キーを押します。画面が暗くなり、カーソルが十字形で表示されます。コピーする領域の端をポイントしてカーソルを左クリックします。カーソルを動かして、キャプチャする領域を選択します。キャプチャした領域が画面に表示されます。切り取った画像は、クリップボードに保存され、メールやドキュメントに貼り付けることができます。

28. 株価算定ツール

未上場会社の株価を効率的に算出することができるツールです。3期分の決算データを入力することにより直前期と直前々期の株価を算出するため評価額が上昇(下落)したのかが分かります。類似業種の株価データは業種目番号を選択するだけで反映することができます。

<作業手順>

初期画面の「株価算定ツール」をクリックします。



<機能>

1. 入力した企業データをDATAファイルに登録(上書き)します。
2. 登録済の企業データを読み出すことができます。
3. DATAファイルに登録済の企業データを一覧表示します。
4. 他の担当者が登録した企業データを読み出す時に、その担当者のDATAファイルへの接続を設定します。
5. 本システムをサーバー内で使用している場合、他の担当者が登録した株価算定ツールのデータを含めて一覧表示します。
6. 新規入力する場合や入力したデータを消去したい場合にクリックします。
7. 株価レポートを作成することができます。
8. 将来の株価の変動をシミュレーションすることができます。また対策前と対策後の株価の変動をシミュレーションすることもできます。
9. 会社規模の判定結果を確認することができます。
10. 会社の規模ごとの株価を確認することができます。
11. 株主ごとの評価額を表示します。株主別評価額シートで、データ入力シートの株主構成欄からデータを反映することができます。
12. 第4表、第5表、第7表、第8表の法定帳票を確認することができます。
13. 株式保有特定会社でS1・S2評価を行う場合に使用します。
14. 他拠点等に企業データを送付用として出力することができます。
15. 他拠点等から受けとった企業データ(⑭で出力したデータ)を本ツールに取り込む場合に使用します。
16. 企業データを第三者に入力してもらった場合などに、本ひな型を出力し入力してもらいます。
17. ⑯のひな型に入力した企業データを本ツールに取り込む場合に使用します。
18. 算出した相続税評価額、法人税法上の時価、発行済株式数をデータ入力シートに反映する場合に使用します。
19. 決算期により適用する類似会社データを任意で選択できます。
20. 直近の類似株価や2年平均の類似株価を含めて算出する場合に使用します。
21. 類似業種比準価額の修正または配当期待権を入力する場合に使用します。
22. 土地、有価証券等の含み益の控除割合を入力します。子会社等の評価で含み益の控除を行わない場合は0%で登録します。
23. 登録済のデータを使用して翌期の算定を行う場合に、直前期を直前々期、直前々期を直前々々期にデータを移行できます。
24. 特定会社に該当した場合に「株式保有特定会社」、「土地保有特定会社」等を選択します(特定会社に該当の表示あり)。
25. 医療法人に該当する場合「該当あり」を選択。それ以外は「該当なし」を選択します。
26. 財務データはセルに直接入力方法とFのフォームで詳細に入力する方法があります。フォームでは詳細なデータを入力できるようになっており、このデータが優先され株価を評価します。
27. 土地明細、投資有価証券、その他勘定科目の簿価および相続税評価額をそれぞれのシートに入力します。すべて簿価で評価を行う場合でも、それぞれのシートに1行(合算)で入力するようにしてください。直前期の土地、有価証券等の相続税評価額、簿価を入力することができます。直前々期の土地、有価証券等の相続税評価額、簿価を入力することができます。業種をフォーム上で「大分類」「中分類」「小分類」を選択すると、有利な業種目番号を自動で検索し反映します。
28. 類似会社のデータを確認することができます。
29. 類似業種比準価額、純資産価額、配当還元価額の計算過程を確認することができます。

<レポート作成までの流れ>

- (1) 財務データを入力します。前期データ、前々期データ、前々々期データを入力することで2期分の株価評価を算出します。セルに直接入力する方法とFをクリックし入力フォームで入力する方法があります。詳細な株価の評価を行う場合は入力フォームで入力してください。入力フォームで入力するとデータに右側に●印が表示されます。フォームで入力されている場合、フォームでの入力データが優先され株価を評価します。
- (2) 土地明細、投資有価証券明細、その他勘定科目の入力
土地、投資有価証券においては簿価と相続税評価額により含み損益を計算します。簿価で評価を行う場合においても入力必須です。その場合は、それぞれ1行に合算で簿価と相続税評価額を同一金額で入力してください。明細が入力されている場合、左側に●印が表示されます。

- (3) 業種を選択して、従業員数を入力すると、会社規模判定が自動で行われます。

業種	その他	人
従業員数	20	
業種番号	11	

※業種目番号が検索された際、選択した業種と相違している場合にメッセージが出力されますので、その際は業種を修正してください。

- (4) 業種目番号は業種目番号欄の㉔の「検索」をクリックして、大分類、中分類、小分類を選択し「決定」をクリックすると有利な業種目番号を自動で反映させます。類似会社のデータを確認するには㉔の「一覧」をクリックしてください。



新製品価格決定

新製品価格決定の手順

① 大分類を選択 ⇒ ② 中分類を選択 ⇒ ③ 小分類を選択
(該当なしの場合はその上分類を選択してください)

① 大分類

② 中分類

③ 小分類

決定 キャンセル

- (5) 将来の株価の変動をシミュレーションする場合は⑧の **株価シミュレーション** をクリックします。

＜株価シミュレーション＞

1

1 数据源选择 (数据源)

数据源选择

3

3 数据源

4

4 数据源选择、数据源

5

5 数据源选择、数据源

6

6 数据源选择、数据源

2 数据源选择 (数据源)

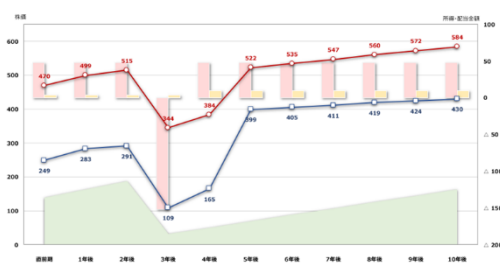
数据源选择

3 数据源

4 数据源选择、数据源

5 数据源选择、数据源

6 数据源选择、数据源



1. 所得の増減、配当金の増減でシミュレーションを行います。この欄では毎年〇〇% (百万円) 増加または減少するというシミュレーションができます。
2. この所得欄、配当金の欄、純資産 (簿価、相評、時価) の欄は任意で金額を入力できるようになっております。会社規模、配当金の欄に未入力がある場合は、左の数値を右のセルにコピー & ペーストする設計になっています。
対策項目を入力する所得、純資産の欄は、対策による増減を該当年にのみ入力してください。
3. データを入力しましたら③の「算出」をクリックするとシミュレーションを実行します。
4. 作成したシミュレーションをレポートに出力する場合は④をクリックして反映ボタンをクリックしてください。最大3つのシミュレーションを出力することができます。
5. 対策前および対策後の相続税評価額のシミュレーションを作成することができます。⑤をクリックし株価比較シミュレーションシートを開き
株価比較シミュレーション作成をクリックするとシミュレーションすることができます。レポートに出力する場合は「レポート反映」をクリックしてください。このシミュレーションは1つしか出力することができません。

※ 作成したシミュレーションについて「レポート反映」をクリックしたものは
DATAファイルにも登録されます。

- (6) 株主別評価額

株主ごとの評価額を算出します。データ入力シートの株主構成欄に入力されているデータを反映させることができます。

データ取得をクリックするとデータが反映されます。

評価方法欄で株主ごとの評価方法をプルダウンメニューから選択します。

※ 株主別評価額一覧が作成されていないとレポート出力において資本関係図は出力されません。

- (7) **レポート作成**をクリックしてレポートの作成を行ってください。

＜補正＞

- (1) 類似業種比準価額の算出にあたり、類似会社の株価は前年平均で算出していますが、直近の株価で算出したい場合は類似株価任意摘要欄の「任意摘要」をクリックして株価を入力してください。一番有利な株価を自動で判定します。
年平均に戻したい場合は「解除」をクリックしてください。
- (2) 類似業種比準価額の修正を行う場合は「比準価額の修正」をクリックしデータを入力してください。
- (3) 類似業種比準価額の比準要素数を強制的に修正する場合は、第4表の比準要素数の強制適用をクリックして、強制的に適用させたい該当の要素(フォーム上)を選択してください。

戻る	印刷		比率変換数の強制適用
第4表 類似標準比率の計算明細書		会社名	証
1. 1株当たり の 資本金等の 額の計算	資本金等の 繰上金等の額	資本金等の 繰上金等の額	自己株式等 の自己株式等
1	47,300	946	0
	円	円	円
		1株当たり100株の資本金等の額 (円(1+2))	1株当たり100株の資本金等50円(100円) の割合の計算結果(円(1+50円))
		50,000	946,000
		円	円

	直前期末以前(2)3(年)間の年平均相当金額	計算要領(1)の注1に規定された公 司の特定支費の金額
2、 比 率	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> ⑥年配当金額 ⑦の① 配当金等 配当金等 </div> <div> ⑧有利配当の平均 配当金等(⑥-⑦) </div> <div> 年平均相当金額 ⑧(⑥+⑧)÷2 </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> ⑨ 円 </div> <div> ⑩ 円 </div> <div> ⑪ 円 </div> </div>
	⑨ 0 円	⑩ 0 円
	⑪ 0 円	⑫ 0 円
	⑬ 0 円	⑭ 0 円
	⑮ 0 円	⑯ 0 円
	⑰ 0 円	⑱ 0 円
	⑲ 0 円	⑳ 0 円
	㉑ 0 円	㉒ 0 円
	㉓ 0 円	㉔ 0 円
	㉕ 0 円	㉖ 0 円
	㉗ 0 円	㉘ 0 円
	㉙ 0 円	㉚ 0 円
	㉛ 0 円	㉜ 0 円
	㉝ 0 円	㉞ 0 円
	㉟ 0 円	㊱ 0 円
	㊲ 0 円	㊳ 0 円
	㊴ 0 円	㊵ 0 円
	㊶ 0 円	㊷ 0 円
	㊸ 0 円	㊹ 0 円
	㊺ 0 円	㊻ 0 円
	㊼ 0 円	㊽ 0 円
	㊾ 0 円	㊿ 0 円
	㋀ 0 円	㋁ 0 円
	㋂ 0 円	㋃ 0 円
	㋄ 0 円	㋅ 0 円
	㋆ 0 円	㋇ 0 円
	㋈ 0 円	㋉ 0 円
	㋊ 0 円	㋋ 0 円
	㋌ 0 円	㋍ 0 円
	㋎ 0 円	㋏ 0 円
	㋐ 0 円	㋑ 0 円
	㋒ 0 円	㋓ 0 円
	㋔ 0 円	㋕ 0 円
	㋖ 0 円	㋗ 0 円
	㋘ 0 円	㋙ 0 円
	㋚ 0 円	㋛ 0 円
	㋜ 0 円	㋝ 0 円
	㋞ 0 円	㋟ 0 円
	㋠ 0 円	㋡ 0 円
	㋢ 0 円	㋣ 0 円
	㋤ 0 円	㋥ 0 円
	㋦ 0 円	㋧ 0 円
	㋨ 0 円	㋩ 0 円
	㋪ 0 円	㋫ 0 円
	㋬ 0 円	㋭ 0 円
	㋮ 0 円	㋯ 0 円
	㋰ 0 円	㋱ 0 円
	㋲ 0 円	㋳ 0 円
	㋴ 0 円	㋵ 0 円
	㋶ 0 円	

北澤事務所

強制的に比率算出数値としてアカウントしたい項目をチェック

借方科目		貸方科目	
アカウントされている勘定 <input type="checkbox"/> 配当金 <input checked="" type="checkbox"/> 利益金 <input checked="" type="checkbox"/> 純資産増額	強制適用する(されている)/勘定 <input type="checkbox"/> 配当金 <input type="checkbox"/> 利益金 <input type="checkbox"/> 純資産増額	アカウントされている勘定 <input type="checkbox"/> 配当金 <input checked="" type="checkbox"/> 利益金 <input checked="" type="checkbox"/> 純資産増額	強制適用する(されている)/勘定 <input type="checkbox"/> 配当金 <input type="checkbox"/> 利益金 <input type="checkbox"/> 純資産増額

留意点

- (1) 特定会社の判定、比準要素数の判定を行っており、該当した場合はその旨表示されます。
(2) 株価算定ツールの顧客データについては上書き登録(保存)をすることができます。

29. その他情報シート

お客さまとの折衝内容や提案した反応等の情報を入力する場合に使用します。

その他情報シートは「データ入力シート」の「その他情報」をクリックします。

項目	内容
2018年4月●日	所得税が55%であり、税負担についてヒアリング。 お客さまは「税金だから仕方ない。」とあきらめ顔であったが、法人個人間売買による所得分散が有効な提案になると感じた。税理士と帯同し提案する予定。
2018年4月▲日	税理士帯同のもと法人個人間売買による所得分散について提案。 提案内容について好感度であり、法人個人間売買による効果について税理士がシミュレーションを行うことで承諾を得る。

「その他情報シート」に入力した内容は「データ入力シート」のデータとともにDATAファイルに登録されます。

30. 登録済データの閲覧

「データ入力シート」の「登録済データ」をクリックすると登録されているお客さまのデータを一覧で閲覧することができます。

No.	顧客No.	顧客名	住所	総資産額	うち不動産	負債額	純資産額	相続税	データ更新日	担当者	担当者ID
1	92_50	若葉太郎	東京都千代田区1丁目●番△号	2,465	2,042	200	2,265	471	2019/07/28	▲	AK500
2	999999_1	若葉 太郎	東京都千代田区1丁目■番○号	1,064	530	90	974	165	2019/05/06	■	AD350
3	100000_1	若葉 太郎	東京都千代田区1丁目▲番△号	1,500	790	90	1,256	203	2019/08/05	▲	FU290
4	100000_5	若葉 太郎	東京都千代田区1丁目□番■号	1,600	820	120	1,256	203	2019/08/21	▲	J1100

「TCSDATAファイル」に登録済の顧客データを表示します。

「絞り込み検索」をクリックすると「顧客No.」「顧客名」「住所」「担当者」等で検索することができます。

検索はあいまい検索ができるようになっておりますので、苗字のみや名前の一部で該当する顧客を検索することが可能です。

1. データを検索したいセルをクリックしたのち①の「アクティブセルのデータ検索」をクリックするとデータシートに当該顧客データを表示します。
2. ②の「データ出力」をクリックすると登録データ一覧表を別ブックとして切り離します。登録済データを加工・修正等を行って管理する場合などに活用します。

31. 他の相続診断ナビゲーションへのデータ接続

本システムを複数台導入し、かつサーバーに本システムを保存して利用している場合、他の相続診断ナビゲーションのデータを閲覧することができます。

<作業手順>

- (1) 「データ入力シート」の①の「他のシステムへ接続」をクリックします。
- (2) 次の画面で②の「パスDATAファイル」をクリックします。SmilePASS.xlsmのファイルが立ち上がります。
- (3) 全相続診断ナビゲーションデータのパス指定の③の「他のデータフォルダ保存先の指定」をクリックするとエクスプローラーが立ち上がりますので、接続したい担当者が使用している本システムフォルダ内のDATAフォルダを指定してOKをクリックします。TCSDATAのパスが入力されますのでそのシステムを使用している担当者名を④の欄に入力します。
SmilePASS.xlsmのファイルに一度登録しておくと、バージョンアップがあった場合でも簡単に他の相続診断ナビゲーションへアクセスできるようになります。
- (4) パスを指定したら保存してSmilePASS.xlsmを閉じます。
- (5) ⑤の「パス指定の読み込み」をクリックするとSmilePASS.xlsmに登録してあるパスが読み込まれます。
- (6) 接続したい担当者の「接続」をクリックすると指定した担当者のDATAファイルに接続することができます。
- (7) 他のシステムDATAでの作業が終了しましたら、データ入力シートの上部中央の⑥の「接続解除」をクリックすると、自分のDATAファイルに接続が戻ります。

図 6 「データ入力」画面の表示例

⑤ 「データ入力」画面の表示例

② 「データ入力」画面の表示例

③ 「データ入力」画面の表示例

④ 「データ入力」画面の表示例

⑥ 「データ入力」画面の表示例

⑦ 「データ入力」画面の表示例

⑧ 「データ入力」画面の表示例

⑨ 「データ入力」画面の表示例

⑩ 「データ入力」画面の表示例

⑪ 「データ入力」画面の表示例

⑫ 「データ入力」画面の表示例

⑬ 「データ入力」画面の表示例

⑭ 「データ入力」画面の表示例

⑮ 「データ入力」画面の表示例

⑯ 「データ入力」画面の表示例

⑰ 「データ入力」画面の表示例

⑱ 「データ入力」画面の表示例

⑲ 「データ入力」画面の表示例

⑳ 「データ入力」画面の表示例

㉑ 「データ入力」画面の表示例

㉒ 「データ入力」画面の表示例

㉓ 「データ入力」画面の表示例

㉔ 「データ入力」画面の表示例

㉕ 「データ入力」画面の表示例

㉖ 「データ入力」画面の表示例

㉗ 「データ入力」画面の表示例

㉘ 「データ入力」画面の表示例

㉙ 「データ入力」画面の表示例

㉚ 「データ入力」画面の表示例

㉛ 「データ入力」画面の表示例

㉜ 「データ入力」画面の表示例

㉝ 「データ入力」画面の表示例

㉞ 「データ入力」画面の表示例

㉟ 「データ入力」画面の表示例

㊱ 「データ入力」画面の表示例

㊲ 「データ入力」画面の表示例

㊳ 「データ入力」画面の表示例

㊴ 「データ入力」画面の表示例

㊵ 「データ入力」画面の表示例

㊶ 「データ入力」画面の表示例

㊷ 「データ入力」画面の表示例

㊸ 「データ入力」画面の表示例

㊹ 「データ入力」画面の表示例

㊺ 「データ入力」画面の表示例

㊻ 「データ入力」画面の表示例

㊼ 「データ入力」画面の表示例

㊽ 「データ入力」画面の表示例

㊾ 「データ入力」画面の表示例

㊿ 「データ入力」画面の表示例

32. データ出力と外部データの取り込み

離れた拠点（またはサーバーを利用していない）と当該顧客について案件相談または打ち合わせ等を行う場合、「データ入力シート」のデータを別なExcelブックとして出力し、出力されたExcelブックを電子メール等で送付することで情報を共有することができます。

<データ出力手順>

- 「データ入力シート」の「データ出力」をクリックすると「データ入力シート」のデータを別なExcelブックで出力します。
- データが出力されるとメッセージ（図1）が表示されますので出力されたファイルを保存します。
- 保存したファイルを他拠点にメールで送信します。

登録 検索 登録済データ 184 件 全システムデータ閲覧 他システムへ接続 印刷 相談の達人XML出力 初期画面

新規入力カード 電話予約チャット レポート印刷出力 顧客設定・確認 顧客ニーズ分析 適宜分類ツール 株価算定ツール 家計診断作成ツール その他情報 設備費の取得履歴を印刷 データ出力

留意点

- 出力された顧客データのExcelブックについては「行」「列」の挿入削除は行わないでください。
- シート名の変更は行わないでください。

（図1）

相談診断ナビゲーション

データ出力しました。ファイルを保存してください。

OK

<外部のデータの取り込み手順>

- 外部から送付されたExcelファイルをシステムフォルダ → 出力フォルダ内に保存します。
- 本システムの「初期画面」の「外部のデータ取り込み・DATAファイルの更新」をクリックし「更新シート」へ移動します。
- 取込むデータファイルを①のプルダウンメニューから選択し、②の「データ取り込み」をクリックします。
プルダウンメニューにファイル名が存在しない場合、③の「ファイルを指定する」をクリックするとファイルが選択できるようになります。

相談診断ナビゲーション

外部「相談診断」から送付された相談ナビのデータ入力シートのデータ取り込み

他の営業所（支店・事務所）等が出力した顧客データ（データ入力シートのデータ）を本システムのデータ入力シートに読み込みます。
読み込むファイル名を選択し「データ取り込み」ボタンを押下してください。ファイル名がプルダウンメニューに出力されていない場合は、「ファイルを指定する」をクリックしてファイルを選択してください。

【注意】読み込むデータファイルは、本システムフォルダ内の「出力F」フォルダに保存してください。

相談ナビの送付データファイル名を指定: 1

2 データ取り込み 3 ファイルを指定する

33. 最新バージョンのダウンロード方法

本システムの最新バージョンのダウンロードについては、弊社ホームページからダウンロードすることができます。

<作業手順>

- (1) 初期画面の①の「最新版ダウンロードサイト」をクリックすると弊社のホームページのダウンロードページにアクセスします。
- (2) ②の「バージョンアップファイル」をクリックすると、Version_up_file_yyyymmdd.zipがダウンロードされます。
ダウンロードされたVersion_up_file_yyyymmdd.Zipフォルダ内のV_fileフォルダを本システムフォルダ内のV_UPフォルダ内に保存してください。
V_fileフォルダ内の「バージョンアップ実行ファイル」を立ち上げ、中央の「バージョンアップ実行」をクリックすると、自動的に各ファイルのバージョンアップを自動で行います。バージョンアップができたファイルは、自動的に消去されます。
※ 消去されなかったファイルはバージョンアップが行われなかったファイルで、手動で差し替える必要があります。
手動で行う場合は、手動によるバージョンアップ手順.txtを参照し、その手順に従って行ってください。
- (3) ③の操作手順書（詳細編）をクリックすると、各種ツールを含めて詳細な操作手順を確認することができます。
- (4) ④の相続診断アクセスは、サーバーで本システムを利用している方のみが対象で、Officeのセキュリティ強化によって、サーバー内の本システムが起動できない場合に使用するものです。相続診断アクセスをダウンロードし、Zipフォルダ内の手順書を参照して本システムを起動してください。



ツール名	更新日	バージョン	保存フォルダ
全てのファイルを最新版に更新します。「バージョンアップファイル」をクリックしてダウンロードしてください。			
2 バージョンアップファイル	2024/10/09	Ver39_19	Zipフォルダ内のV_fileフォルダを相続診断シミュレーションシステムのフォルダ内のフォルダ → V_UPフォルダに保存
操作手順書(詳細編)はこちらからダウンロードしてください。			
3 操作手順書 (詳細編)	2023/12/15	—	相続診断シミュレーションシステムのフォルダ以外の任意の場所に保存してご利用ください。
サーバー内の本システムを起動できない場合は、相続診断アクセスをダウンロードしてご利用ください。			
4 相続診断アクセス	2022/11/05	—	相続診断アクセスのファイルは必ずPCのローカル上（ディスクトップ等）に保存してください。

<弊社のホームページに直接アクセスした場合>

- (1) 弊社ホームページ内の「相続診断ナビゲーションアップデート」または「相続 S最新情報」をクリックします。
- (2) パスワード入力フォームにパスワードを入力して「相続診断ナビゲーションダウンロードサイト」にアクセスしてください。
PW : set7595sm

34.レポート台紙の変更

各種レポートの台紙にロゴ入り社名を挿入したり、台紙の色をコーポレートカラーに変更することができます。

<TCS自動作成レポートの台紙変更手順>

- (1) 本システムフォルダ内の①の「Toolフォルダ」→②の「Reportフォルダ」をクリックし、③の「TCS自動作成レポート.pptx」を立ち上げます。
 - (2) ④の緑の部分をクリックし「塗りつぶし」でコーポレートカラーに変更します。下部の緑部分も同様に変更します。
 - (3) ⑤の□部分にロゴ入りの社名を貼り付けます。
 - (4) ⑥の「レポートの留意点」を御社で通常記載している留意文言に適宜修正してください。
 - (5) メニューバーの⑦の「表示」をクリックし、⑧の「スライドマスター」をクリックします。
 - (6) ⑨の緑の部分をクリックした後、右クリックし「塗りつぶし」でコーポレートカラーに変更します。
 - (7) ⑩の□部分にロゴ入りの社名を貼り付けます。
 - (8) 「マスター表示を閉じる」をクリックしてスライドマスターを終了し、上書き保存してPowerPointを閉じます。
- 上記の作業を他のレポート台紙(DP自動作成レポート、遺産分割レポート、不動産レポート、未上場株式レポート等)についても行ってください。
ロゴ入りの社名を挿入した場合は、レポート作成時に「発行者名の挿入はしない」を選択してレポートの作成を行ってください。



各種レポート出力様式をRGBコード(0～255)を指定することで色彩を変更することができます。また、顧客名の出力位置、日付の出力位置を変更することができます。

<作業手順>

1. 初期画面の⑪の「レポート出力様式設定」をクリックします。
2. 「PowerPoint台紙設定フォーム」から表紙、挿入スライド等の各項目の色を「RGBコード」を入力して変更します。
共通設定、各種レポートごとの出力書式を設定することができます。
3. 変更が終了したら⑫の「設定」をクリックします。本システムを終了する時は「保存して閉じる」を選択してください。



35. 相続の達人との連携

本システムで入力した資産の明細を「相続税の達人」(NTTデータ)と連携することができます。(第11表のみ)

<相続税の達人のデータエクスポート方法>

- (1)「データ入力シート」の①の「相続の達人XML出力」をクリックします。
- (2)「達人連携用XML出力ツール」の②の「DATA取得」をクリックします。
- (3) 取得したデータを編集、消去する場合は③の「DATA閲覧・編集」、④の「DATA消去」で行います。
- (4) ⑤の「XML出力」をクリックして「データ入力シート」の入力データをXML形式で出力します。
- (5) 出力されたXMLデータを保存します。保存先は本システムフォルダ以外のフォルダを指定して「OK」をクリックします。
- (6) 「相続税の達人」でインポートをクリックし、保存したXMLファイルを指定してインポートを行ってください。インポートデータは第11表に反映されます。

The screenshot shows the 'DATA閲覧・編集フォーム' (Data View/Edit Form) with the 'DATA取得' (Data Acquisition) step selected. The form displays the following information:

情報	
財産番号	1
種類	土地
細目	宅地
細目(表示名)	宅地
利用区分・銘柄(上段)	自用地
利用区分・銘柄(下段)	(自用地)
所在場所等(上段)	東京都区〇〇町1-1540
所在場所等(下段)	
数量, 単位	300 m ²
共有持分	1 / 1
単価	200,000 円
固定資産税評価額	60,000,000 円
倍率(1)(2)	×
価額	60,000,000 円
権利割合	
評価額	60,000,000 円

The form also includes buttons for 'DATA取得', 'DATA閲覧・編集', 'DATA消去', 'XML出力', and '終了'.

36.見積書・請求書作成ツール

見積書および請求書を作成することができるツールです。予め料金設定を行うことで、顧客の情報を入力するだけで見積金額・請求金額の自動計算を行います。

＜作業手順＞

初期画面の①の **見積書・請求書作成ツール** をクリックします。



＜初期設定＞

②の **共通設定** から会社情報・振込先情報の設定と見積書・請求書番号の設定を行います。

③の料金設定で事前相談用と申告用の料金設定を行い、それぞれ登録を行います。

＜見積書・請求書作成までの流れ＞

- (1) 事前相談用または申告用の④の「**入力画面**」をクリックします。
- (2) 作成書類から⑤の欄で見積書または請求書を選択します。
(見積書・請求書番号は過去に使用した番号と重複しないように自動付与されます。)
- (3) ⑥の欄に顧客情報などを入力(黄色い箇所)します。
- (4) ⑦の「**登録**」をクリックし登録を行います。
- (5) ⑧の「**見積書作成**」または「**請求書作成**」をクリックし、印刷を行います。

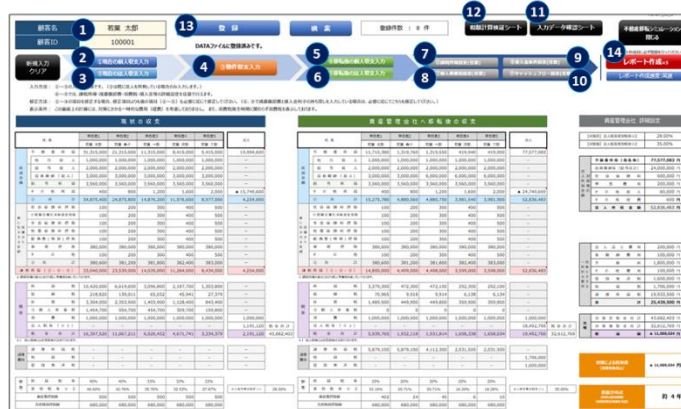
[illegible]

37.不動産移転シミュレーション

収益物件を資産管理会社で活用した場合の個人と法人の税効果と費用を考慮した損益分岐点をシミュレーションすることができます。

＜作業手順＞

初期画面の「不動産移転シミュレーション」をクリックします。



＜レポートの作成までの流れ＞

- 顧客名・顧客Noを入力します。
- 資産管理会社を活用する不動産の所有者と、資産管理会社から報酬を受け取る者の現状の収支を入力します。
- 既に法人を所有している場合のみ、③の「現在の法人収支入力」から法人の収支入力を行います。
- 移転する不動産(土地のみ・建物のみ・土地建物両方)の収支を入力します。
⑮の「対策内容」で、物件ごとに所有方式・サブリース方式・管理料徴収方式・現状維持(対策に反映しない)を選択できます。
⑯の「経費を収入から按分入力」をクリックすると、当該物件の収入分の経費が按分で自動入力されます。
- 不動産を移転した後の個人の収支を入力します。
⑰の「現状収支－移転収支反映」をクリックすると、個人の現状の収支から対策する不動産の収支を差し引いた金額が自動入力されます。内容を確認し、適宜修正してください。



- 対策後の法人収支と対策に伴う費用等を入力します。
⑱の「(1)、(3) 自動反映」をクリックすると、対策を行う不動産の収支が自動入力されます。
- 課税所得・減価償却費・消費税の詳細設定(変動)を任意で行えます。
減価償却費の変動を入力する場合、所得金額に含まれている減価償却費を⑲の「減価償却費(申告書)」欄で差し引く必要があります。それぞれの【反映】ボタンを押すことで、収支入力で入力された減価償却費が自動反映されます。
- 個人事業税の調整を任意で行えます。個人事業税の課税所得に加味される所得は、不動産所得と事業所得のみです。その他に個人事業税の課税所得に加味したい所得がある場合は、課税所得調整額の欄に入力します。個人事業税を強制適用したい場合は、個人事業税強制入力欄に入力します。
- 当シミュレーションに借入元金や借入金利子の変動を加味する場合は、こちらから入力します。
- キャッシュフローの調整を任意で行えます。
⑨で借入金条件設定を行った場合は、「課税所得(切り捨て前)」に含まれている借入金利子を「借入金利子(申告書)」の欄で差し引く必要があります。それぞれの【反映】ボタンを押すことで、収支入力で入力された借入金利子が自動反映されます。



- ②～⑥で入力した内容の詳細を確認できます。
- 所得税・取得税・譲渡所得税等の税額計算の過程を確認できます。
- 入力したデータを登録します。
- レポートの作成を行います。

38.将来予測シミュレーション



■ 初期画面の「相続税 将来予測シミュレーション」をクリックして起動します。
将来予測シミュレーションは、各資産の変動やキャッシュフローの変動、各対策による資産変動で相続税がどのように推移するのかをシミュレーションするものです。

※ 将来予測シミュレーションの操作手順につきましては、システムフォルダ内の
操作マニュアルフォルダ内にある将来予測シミュレーション手順書.pdfをご参照ください

<初期画面>

<作業手順>

- ①の「データ取得」をクリックすると、データ入力シートから相続人情報、各資産額が反映されます。
- ②の欄では、その資産の毎年の変動割合を入力します。変動させない場合は空欄のままで結構です。
- ③の「対比選択変更」で、②の変動を「前年対比修正率」または「当初対比修正率」で変動させるか選択します。
- 債務がある場合、④の欄に借入の明細を入力することで、約定返済が自動計算されます。
- 二次相続税の算出において、非課税額等を設定する場合に金額を入力します。
- 二次相続財産の算出設定を行います。
- ⑦の「各種対策入力」をクリックして、お客さまに提案する対策を入力します。
各種贈与関連、生命保険・不動産小口化商品の活用、キャッシュフローの変動、収益物件の建築、収益物件の建替え、収益物件の購入、不動産の売却等の対策を入力することができます。
- ⑧の「対策財産の変動入力・編集」では、⑦で入力した対策について相続税評価額の変動を調整する場合に使用します。
- ⑨の「資産推移確認・変動調整入力」では、対策前・対策後の各資産の変動を確認したり、調整したりすることができます。
- 2～10までに入力した内容による相続税の推移を確認することができます。
- レポートに出力するバランスシート(各資産の変動を棒グラフで表示したもの)の出力年を指定できます。
- レポートとしてPowerPointに出力することができます。
- 現在借り入れている借入を繰上返済する時に使用します。

<各資産・相続税の変動確認>

- ⑦で入力した対策の前提条件を確認することができます。
- 30年のグラフで各資産の変動、相続税の変動を確認することができます。
- 相続税の変動を確認することができます。
- 第1表で現在～30年後までの相続税を確認することができます。
- 借入の約定明細を確認することができます。
- 入力されたデータをDATAファイルに登録します。
- DATAファイルに登録されているデータを読み出すときに使用します。